

虫喰いマ

4号<通刊9号>

July



核の現場を歩いて/豊崎博光

前に向けた平和主義を.../ダグラス・ラミス

ずいひつ/井手敏彦

ポーリンさん(ニュージーランド)日本を語る

いまだにない本『核』のできるまで

250円



トマ喰い虫 バック・ナンバー

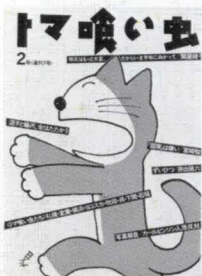
3号

●非核ニュージールランドをつくり出した人々 (インタビュー)
●トマホーク・データ
●名取弘文+小嶋さちほ(対談)
●地域から●中央指揮所のQ&A●海外から●定価250円



1号

●飛鳥田一雄(インタビュー)
●山本コウタローは語る●糸土広+菅孝行(対談)●地域から●今月のアンボ●トマホーク・データ●定価200円



2号

●関屋綾子 (インタビュー)
●宮崎駿は語る●柳谷あき子+鈴木道子 (対談) ●井出孫六 (ずいひつ) ●カールピンソン入港抗議●定価250円

アインシュタインからゴジラまで、
「核」に関する基礎知識をやさしく解説。
いま、全国で話題の1冊!

核

いま、地球は...

●あなたの核意識がわかる自己診断カルテ付!
●A5判128ページ 定価620円

Think about
KIAK

講談社

米国スター・ウォーズ計画の実態は?
ウラルで起きた謎の核惨事の原因は?
C31とはなんのために「核の冬」とは?
飢えと暗黒の支配する「核の冬」はありますか?
核は、すべて未来の中にあります。

へ反トマホーク元氣印ニュース

●アイスランドからうれしいニュースが飛びこんで来た。非核決議により非核証明を求めているアイスランドで、ニュージールランドと同じように実際にアメリカの艦船が入港できない事態が発生したことを、アイスランド国営放送が暴露したのである。8月末から9月末にかけて、NATO(北大西洋条約機構)の過去最大規模の海洋兵たん線防衛演習「オーション・サファリ85」が行なわれたが、その際、フバルフィヨルド港にすべての軍艦が立寄れず領海12カイリの外に停泊せざるをえなかった。ANZUSに続いてNATOの一角が崩れた。さあ次は安保?

●今年6月、反トマ太平洋運動とともに行動した北大西洋ネットワーク(NAN)が、86年も反トマの世界的共同行動をと呼びかけている。日本でも多彩なとりくみをやろう!

●10月17日、核トマホーク搭載原潜ヒューストンがヨコスカに入港。ただちに、全国運動の梅林宏道さん、京都の吉田満智子さんの「48歳コンビ」がハンストに突入。反撃の第一歩を踏み出した。

『トマ喰い虫』改装4号(通刊9号)
1985年11月20日発行 頒価250円

〒112 東京都文京区春日
1-8-6 中森ビル2階
電話 03・813・1953
郵便振替 東京6-136148
(口座名 トマホークの配備
を許すな/首都圏運動)

この号の編集に参加した人
新倉裕史、加納明、梅林宏道、
林夏子、今井明、井上年弘、
相馬正男、鷺谷真理子、大久保
青志、大橋成子、鈴木良、水
野希代子、故大森克総、青木雅
彦、猪股幸一

●11月2日、トマ喰い虫の編集に参加していた大森克総さんが急死。元氣にハンスト支援の泊り込みをしていたのに……御冥福を祈ります。享年26歳。

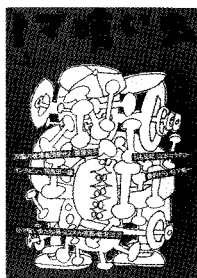




トマ喰い虫 バック・ナンバー

3号

●非核ニュージールランドをつくり出した人々 (インタビュー) ●トマホーク・データ ●名取弘文+小嶋さちほ(対談) ●地域から ●中央指揮所のQ&A ●海外から ●定価250円



1号

●飛鳥田一雄(インタビュー) ●山本コウタローは語る ●糸土広+菅孝行(対談) ●地域から ●今月のアンボ ●トマホーク・データ ●定価200円



2号

●関屋綾子 (インタビュー) ●宮崎駿は語る ●柳谷あき子+鈴木道子 (対談) ●井出孫六(ずいひつ) ●カールビンソン入港抗議 ●定価250円

アインシュタインからゴジラまで、
「核」に関する基礎知識をやさしく解説。
いま、全国で話題の1冊!

核

いま、地球は...

●あなたの核意識がわかる自己診断カルテ付!!
●A5判128ページ 定価620円

「核」に関する基礎知識をやさしく解説。
いま、全国で話題の1冊!

米国のスター・ウォーズ計画の実態は?
ウラルで起きた謎の核爆撃の原因は?
C-31とはなんのために「核の冬」とは?
飢えと暗黒の支配する「核の冬」は?

講談社

へ反トマホーク元氣印ニュース

●アイスランドからうれしいニュースが飛びこんで来た。非核決議により非核証明を求めているアイスランドで、ニュージーランドと同じように実際にアメリカの艦船が入港できない事態が発生したことを、アイスランド国営放送が暴露したのである。8月末から9月末にかけて、NATO(北大西洋条約機構)の過去最大規模の海洋兵たん線防衛演習「オーション・サファリ85」が行なわれたが、その際、フバルフィヨルド港にすべの軍艦が立寄れず領海12カイリの外に停泊せざるをえなかった。ANZUSに続いてNATOの一角が崩れた。さあ次は安保?

●今年6月、反トマ太平洋運動とともに行動した北大西洋ネットワーク(NAN)が、86年も反トマの世界的共同行動をノと呼びかけている。日本でも多彩なとりくみをやるろう!

●10月17日、核トマホーク搭載原潜ヒューストンがヨコスカに入港。ただちに、全国運動の梅林宏道さん、京都の吉田満智子さんの「48歳コンビ」がハンストに突入。反撃の第一歩を踏み出した。

『トマ喰い虫』改装4号(通刊9号)
1985年11月20日発行 頒価250円

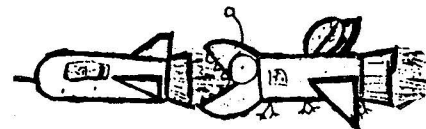
〒112 東京都文京区春日
1-8-6 中森ビル2階
電話 03・813・1953
郵便振替 東京6-136148
(口座名 トマホークの配備
を許すな/首都圏運動)

この号の編集に参加した人
新倉裕史、加納 明、梅林宏道、
林 夏子、今井 明、井上年弘、
相馬正男、鷺谷真理子、大久保
青志、大橋成子、鈴木 良、水
野希代子、故大森克総、青木雅
彦、猪股幸一

●11月2日、トマ喰い虫の編集に参加していた大森克総さんが急死。元氣にハンスト支援の泊り込みをしていたのに……御冥福を祈ります。享年26歳。



図解●どんな核が日本に来ているか……	1
あらためて「トマホークとは？」……	2
特集 いま反核を主張する	
インタビュー●ダグラス・ラミス……	5
広島市平和宣言批判……	8
核の現場を歩いて	
●豊崎博光……	9
被爆40年目の日本を	
訪れて●ポーリン・サーストン……	12
非核の実質化にむかって……	16
地域から……	18
北海道／東京／ヨコスカ／上瀬谷／愛知／美保／京都／神奈川／広島／岡山／福岡／呉	
ずいひつ 井手敏彦……	21
トマホーク・データ……	22
私の主張……	24
「核 いま地球は…」のできるまで	
●平石元明、大川 修……	26
読者から……	30
オーストラリア、ニュージーランド	
反核留学●遠山法子……	31
海外から●フィリピン、反トマ国際共同	
行動、パラオ……	32
バック・ナンバー……	34
表紙イラスト●田島征三	



トマ喰い虫とは、横須賀の久里浜中学生が考え出したトマホークをたべてしまう生き物です。反トマホーク運動のマスコット。



トマ喰い虫とは

どんな核が日本に来ているか

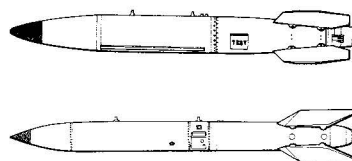
非核三原則—核兵器をつくらない・持たない・持ち込ませない

だから日本に核はない、と私たちは本当に信じてきたでしょう。

「核兵器を積んだアメリカの船が日本の港に入るとき、核兵器をおろすことはない」とライシャワー元駐日米大使は発言しています(1981年5月)。

今、巡航核ミサイルトマホークを積んだ原子力潜水艦が横須賀などに入港し、日本が核戦場となる日が近づいています。

核爆弾B43(上) B61(下)



岩国飛行場

A7EコルセアII攻撃機、A6Eイントルーダー攻撃機(核爆弾B43、B57、B61)

佐世保海軍施設

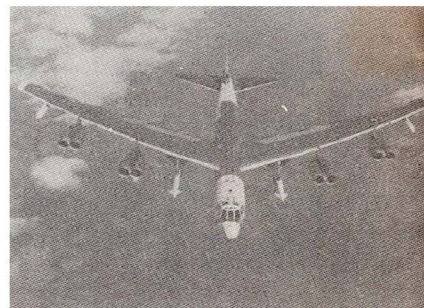
攻撃型原子力潜水艦—ロサンゼルス級、スタージョン級、スレッシャー級(巡航核ミサイルトマホーク、対潜核ロケット爆雷サブロック)

航空母艦—ミッドウェイ、カールビンソン、エンタープライズ

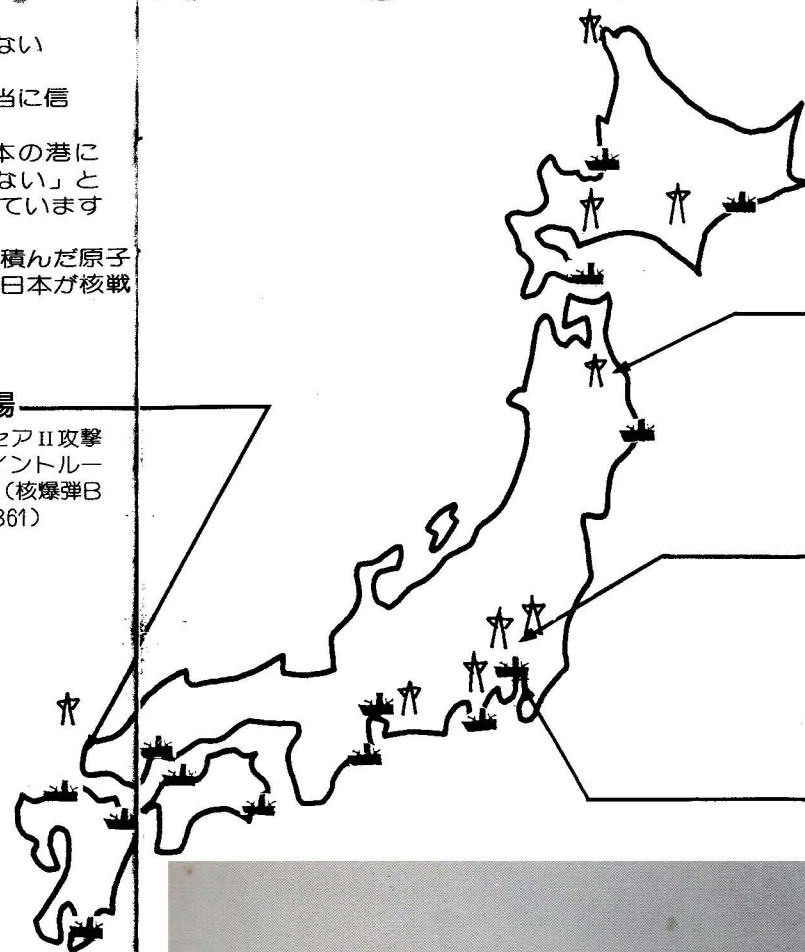
艦載機 A6Eイントルーダー攻撃機(核爆弾B43、B57、B61) A7EコルセアII攻撃機(B43、B57、B61) F18Aホーネット戦闘攻撃機(B57、B61)〈86年以降配備〉SH3Hシーキング対潜ヘリコプター(B57) S3Aバイキング対潜哨戒機(B57)

ノックス級フリゲート艦、スプランス級駆逐艦、チャールスF-アダムス級ミサイル駆逐艦、リーヒ級ミサイル巡洋艦、バージニア級原子力ミサイル巡洋艦(対潜核ロケット爆雷アスロック)

ホン／／原57ロキB核
1核15爆／トロ57／爆
クAキミキ／原／1弾
／Gロサロ1爆 ン原メ
原Mトイトキ／ア 爆ガB
爆86ンルンロ10ス核／ト28
／B トキロ爆20／
2／スラSノツ雷キ 水
百原R1A トク ロB爆
キ爆AND核／サト53／
ロ／MSM地 原フン／2
ト2／／雷核爆ロ メメ
ン百水原原 砲／ツB爆ガ
キ爆爆爆M弾1ク61／ト
ロ／／A キ／／9ン
ト2中1DMロ原メメ
ン百性キM4ト爆爆ガB
キキロ／5／／ト43
トロ爆ト原4 15／
マト弾ン爆／Bキ百 水



B52戦闘爆撃機



F16戦闘機



三沢飛行場

F16戦闘機(核爆弾B43、B57、B61)
P3C対潜哨戒機(核爆雷B57)

横田飛行場

輸送機—C5Aギャラクシー、C141、C130E
(地対地核ミサイルラングス)

横須賀海軍施設

攻撃型原子力潜水艦—ロサンゼルス級、スタージョン級、スレッシャー級(巡航核ミサイルトマホーク、対潜核ロケット爆雷サブロック)

航空母艦—ミッドウェイ、カールビンソン

艦載機 A6Eイントルーダー攻撃機(核爆弾B43、B57、B61) A7EコルセアII攻撃機(B43、B57、B61) F18Aホーネット戦闘攻撃機(B57、B61)〈86年以降配備〉SH3Hシーキング対潜ヘリコプター(B57) S3Aバイキング対潜哨戒機(B57)

ノックス級フリゲート艦、スプランス級駆逐艦、チャールスF-アダムス級ミサイル駆逐艦、リーヒ級ミサイル巡洋艦、バージニア級原子力ミサイル巡洋艦(対潜核ロケット爆雷アスロック)

沖縄

トマホーク搭載原潜・ヒューストン

ホワイト・ビーチ地区 攻撃型原子力潜水艦—ロサンゼルス級、スタージョン級、スレッシャー級(巡航核ミサイルトマホーク、対潜核ロケット爆雷サブロック) ノックス級フリゲート艦、スプランス級駆逐艦、チャールスF-アダムス級ミサイル駆逐艦、リーヒ級ミサイル巡洋艦、バージニア級原子力ミサイル巡洋艦(対潜核ロケット爆雷アスロック)

嘉手納飛行場 P3C対潜哨戒機(核爆雷B57) B52戦略爆撃機(核爆弾B53、B28、B61、短距離核ミサイルSRAM、空中発射巡航ミサイルAGM86B)

辺野古弾薬庫 M454核砲弾(沖縄第12海兵連隊) 核地雷MADM、SADM(海兵隊、陸軍特殊作戦部隊) キャンプ瑞慶覧 M454核砲弾(沖縄第12海兵連隊)

核艦船入港の民間港

釧路、小樽、函館、八戸、横浜、熱海、伊東、下田、蒲郷、鳥羽、小松島、松山、徳山、博多、別府、鹿児島

★ C³I—核通信基地(核攻撃命令システム)

ロランC 十勝太、硫黄島、南鳥島、慶佐次
オメガA 対馬

VLF送信所 依佐美

海軍通信基地 上瀬谷、深谷、横須賀

空軍通信基地 大和田、所沢、座間

ジャイアント・トーク・ステーション

横田、嘉手納

スパイ基地 稚内、千歳、三沢、上瀬谷、淵野辺、楚辺、嘉手納、普天間

あらためて トマホークとは どんなミサイルか

トマホークはこれまでの核ミサイルとどこが違うのですか。

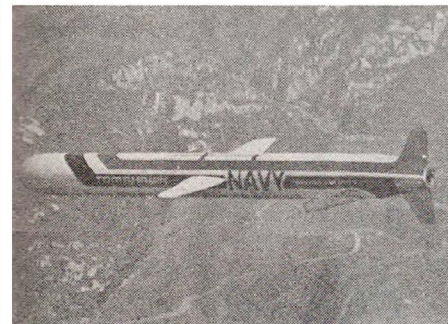
●アメリカは直接ソ連を攻撃する核兵器として、ICBM(地上から発射される核ミサイル)や、SLBM(潜水艦から発射)を持っています。これらのミサイルは弾道弾と呼ばれ、人工衛星打ち上げの原理を使って大気圏外から攻撃するものです。

トマホークは巡航ミサイルと呼ばれ、弾頭弾とはまったくちがう飛び方をします。ジェット機と同じ、と考えていいでしょう。コンピュータによって地をはうように飛ぶので、「忍者」のようなミサイルと書いた本もあるくらいで

す。これまでも巡航ミサイルは開発されたことはあるのですが、これほど射程が長く(二五〇〇Km)、命中精度が高い巡航ミサイルはトマホークが初めてです。

——これまでも日本には多くの核兵器が持ち込まれていると思うんですが、それとの違いは。

●日本に持ち込まれている核兵器は大きくわけて、空母の艦載機が積む核爆弾と、対潜水艦用の核魚雷。これらはいずれも戦術核兵器というのですが、これを積んだ艦船がヨコスカに寄港しても、そこからただちに発射することは考えられていない。ところがトマホークは二五〇〇Kmも飛ぶのですから、ヨコスカから発射してもソ連の大陸部に到達します。トマホーク搭載艦の寄港によって、日本の港が戦略核の発射基地になってしまう



山岳地帯を巡航飛行中のトマホーク

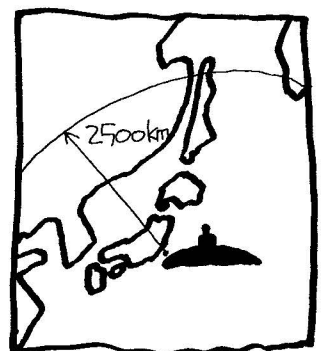
うと言ってもおかげさではないのです。

——トマホーク艦はなぜ日本に寄港するのですか。

●トマホークが狙う極東のソ連軍事基地の位置と射程を考えれば、発射海域は日本の近海になります。出撃、補給、作戦基地としてヨコスカなどが拠点化されるのは必然ですね。

——日本の近海から、トマホークは何を狙っているのですか。

●命中精度のよさと威力(広島型原爆の15倍)から考えて、ソ連の核ミサイルのサイロや司令部など、核爆発にも耐えるような軍事目標が第一のターゲットです。丈夫に作られたサイロでも、真上で核爆発を起こされれば地面といっしょに蒸発してしまいますから、ついでにいうと、相手がミサイ



える以外は、私たちの目につくような目立った変化はないですね。ヨーロッパとちがって極東では、トマホークの配備は主に潜水艦のため、その実態がなかなか見えてこないからです。ただトマホークの配備と連動したアメリカの極東での核戦争計画は着々と進展しています。たとえばこんなふうに。

【日米共同作戦の激化】中曽根首相は海上自衛隊がトマホーク艦や空母の護衛をやる、と公言していますが、そうした極東での軍事的緊張が高まることは、米日、ソ連双方の軍事演習を激化させ、それがますます、相手側の軍事的緊張を高めるといふ悪循環におちいついていきます。

【在日米軍基地の強化】ヨコスカや佐世保、厚木などの海軍基地が強化されるのは「必然」ですが、相模補給廠などの陸軍の基地もまた強化がはじまっています。また、最近発表になった、ヨコスカ・上瀬谷(横浜)に核戦争の際にも耐える艦隊指揮センターを作るなど、核戦争時の指揮、通信を行うCIC機能の強化も動き出しました。

解説◎トマホーク配備阻止京都連絡会 構成◎編集部

のミサイル基地などの攻撃。



はそのためのものです。——もうすこしくわしく、トマホークがどのように使われるのかを話してください。

●いくつかの段階にわけて考えてみましょう。

【平時】トマホークは低空を飛ぶため、これまでのレーダーにはかかりません。そのため、トマホークに対抗するには、ソ連は莫大な金をかけて、防空体制の一新が必要となります。これで攻撃用の兵器につき込む資金がなくなり、アメリカの有位を確立できるというわけです。

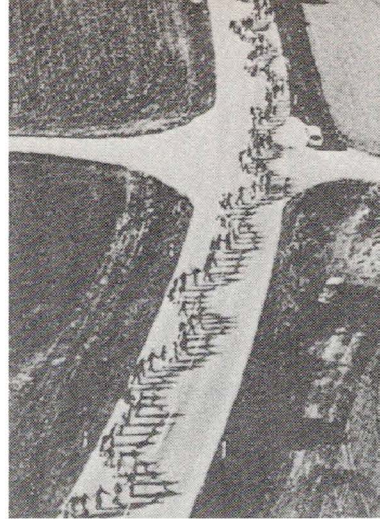
もちろん、ソ連の沿岸部にいるトマホーク艦がいつでも攻撃できることを誇示することで、ソ連を脅かし、彼らの行動を「抑止」することも重要な狙いです。

【米ソが衝突した時】ソ連はまず、トマホークを積んだ艦船を攻撃しようとしませんが、トマホークを積みうる艦船は無数にあるため、実際にそれを実行しようとする、攻撃力が手やすくなります。

【核戦争勃発時】必要な目標の先制攻撃。

【全面核戦争時】生き残った相手

攻撃した場合、ソ連が米本土を核攻撃をしない保証はどこにもない。したがって、限定核戦争が可能であるためには、全面核戦争を行ってもソ連が何も得るものがないことを理解させる、つまり、アメリカが全面核戦争にも勝利しうる体勢を作ることが不可欠になります。CICの生き残り化や、SDIなど



特集

いま反核を主張する



●1962年7月6日、地下約190mで実験された水爆「セージ」(104Kt)によって作られた7メートル。最大深さ96m、最大直径384m (ネバダ・1980)

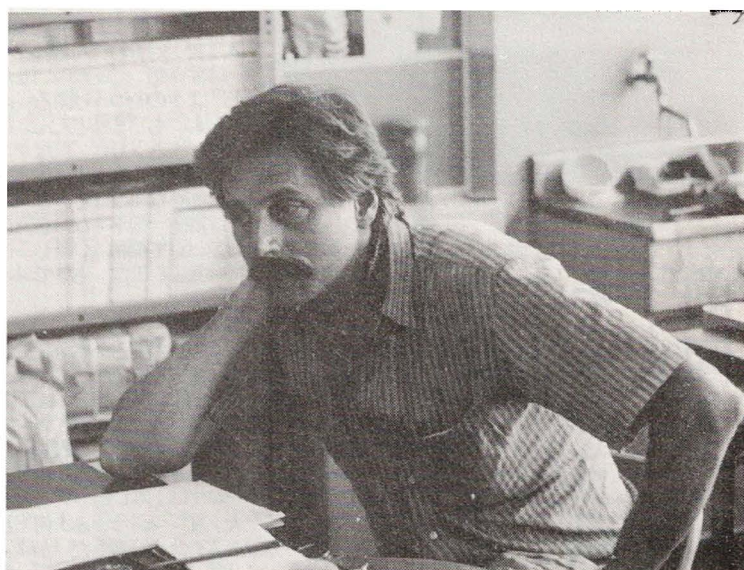
85.8.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.32.33.34.35.36.37.38.39.40.41.42.43.44.45.46.47.48.49.50.51.52.53.54.55.56.57.58.59.60.61.62.63.64.65.66.67.68.69.70.71.72.73.74.75.76.77.78.79.80.81.82.83.84.85.86.87.88.89.90.91.92.93.94.95.96.97.98.99.100.



反核運動(モリス)



トマホークインタビュー



自衛隊は憲法9条の中に入っちゃって
それを含めて平和なんだ…

ダグラス・ラミス

津田塾大学教授

被爆40年、敗戦40年を迎えた。ちょうどこの節目の時期に、日本の反核運動は根本的な転換が求められている……。

原水爆禁止運動が、広島、長崎の惨事をたえず過去の瞬間に引きもどして訴えて来たことに対する反省は、まず日本の加害者性を告発し、被害者意識に終らない運動の思想を生み出す努力として現われた。しかし、アメリカの核戦略にそった急速な日本の軍拡と日米軍事協力体制の強化が進行しているいま、日本の反核運動はあらたな質を加えなければならない。

加害者性の確認が、思想レベルの確かさを生む反面で問題を抽象的なレベルで自己完結させがちな弊害をどう克服するか。思想の確かさが現実のリアルな政治の力の豊かさや強さを生み出す道筋は何か。この観点から新らしく起きつつある非核自治体運動の土俵にどのような光を当てることができるか。特集の中でこんなことを考えてみたい……。

—— いまの日本の状況をどううにお感じになっているでしょうか。

ラミス いちばん簡単な言い方はね、戦後時代を終わらせようという発想がありますね。そして、それは多分実現するかも知れないね。で次の時代をどういうふうに命名すればいいかというと、戦前時代ということになるでしょうね。あ

きらめちゃうという意味じゃなくてね、状態としていうと戦前状態と言ってもいいんじゃないかと思えますね。

—— どうしてそうお感じになるのですか。

ラミス いくつか客観的な事実があります。日本の自衛隊の役割は侵略のためじゃなくて日本を守るためとなっていますね。これは世

論がみとめますよね。それと同じに、パキスタンの人が日本をエコノミック・アニマルと言ってますが、そういう発想も日本人の多くは認めています。経済中心国というふうだね。その日本経済はどこにあるかっていうと国内だとは限らないよね。それもみんな認めてるわけよね。日本国経済は韓国にもあるし、フィリピンにおいてもあ

し、だからその守るべき日本というのは、日本国内にあるとは限らない。だから日本を守ろうと思ったら、いつか外国で守らないといけないくなりますよね。企業とか投資とか、そういう客観的な状況になっています。

—— いまは平和という幻想

—— どういうことでしょうか。

ラミス 別の次元ですが、たとえば軍事費が一パーセント枠を突破すると言うと、今から危機が始まるとか、今までは平和主義だったんだけれども、今年からは平和主義でなくなるとかいう言い方があ

るのね。今までの右傾化は全部認めるわけ。そうなる、平和主義がね、政府を止める力にならない部分があるんだよね。

それを含めて平和なんだと。核に関する考え方もそうなんですけど、ラロック発言があると驚いたり怒ったりするんだよね。ひと月くらい大騒ぎがあって、そしてまた静かになって、こんどはライシャワー発言があると、また驚くわけ。でも考えてみたら核はあるのが当たり前で、言った核はあね、あああるでしょう、と否定しないんですね。何か暴露があれば怒るけれども、ふだんはまあ、あるでしょうという意識なんですよね。何なんでしょうね。なんかの二重思考なんですね。非常にうまく自民党が作ったと思いますね。何か核があるような言い方、段々とみんな慣れてくるでしょう。で驚きが段々にへってくるでしょう。と同時に形式として非核三原

則が生きてるはずでしょ。政府の政策として……。

自分の平和主義をつくる

—— ニュージーランドの活動家が、20日間ほど日本を歩いて、帰り際には、カルチャーショックで、日本の反核運動はどうなっているんだと頭をかかえていました。非核三原則が守られていないと多くの人が言っていて、それでいて何も起こらうとしていないと……。

憲法は、平和主義・革命宣言だ

そういう風に考えると

前向きで面白いんじゃないか

生み出している。非核原則じゃなくて非核幻想をつくるような役割があると思う。

それと同時に、あと二つの機能が可能だと思うんだよね。その一つは可能と言うよりすでに果していると思うんだけど、憲法は確かに日本の軍事費や自衛隊の力を減らしていると思うんだね。満足できるほどじゃないけど事実でしょうね。軍事費が増える速度がね、速い速いと言うんだけれども、ある程度歯止めをかけてると思うんだよね。それに、日本政府がそんなに簡単にフィリピンとか韓国とかに自衛隊を出せないんだよね。自衛隊をフィリピンに送ったら日本の世論がどうなるかってことは、ちょっとやってみないとわかんない。今のところは、政府は簡単には試せないと思うんですね。その意味で憲法9条は弱くなっているんだけれども働いている……。

—— 若い人たちにどんな弱くなっていると思いますが……。

ラミス さきほども言ったことですけど、過去の体験にもついた平和主義を、次の世代に言葉で伝えようとするのは、うまくいかないんですね。大学で教えている



ときに、つくづくとそういう経験をしています。どっちが悪いっていうことじゃなくてね。もう、次の世代がね、自分の体験と考え方で、自分の平和主義を作ることが必要なですね。ニュージーランドの場合なんかも、過去の記憶によるものじゃないですね。

革命宣言だ／憲法は

ラミス 憲法の話にもどりますと、第三番目の機能というのは、実現するということだと思ふんだよね。今までにあったものを守ると言うんじゃないでね、まだやってないことをやってみる、という役目を果たす可能性は、少なくとも言葉の中に入っていると思うんですね。

第9条と憲法の前文は別々に切りはなせないと思いますが、そこに書いてあるのは、日本国は軍事力じゃなくて、世界の平和主義の先頭に立って、国としてね、世界の平和主義運動を国策として進めると、そういう事が書いてあると思うんですね。国家としてひとつの平和勢力になる、そういう風に書いてあると思うんですね。いままでの歴史の中で誰もやってきたこともない、ものすごい冒険的な

ことが書いてある。

それを実現しようと思えば、それはほとんど社会革命だと思えますね。つまり、日本の世論だけではなくて社会構造そのものを変えなくちゃならない。

—— その立場を一口で言うとういうスローガンになるでしょう。

ラミス 憲法は、平和主義革命宣言だ、そういう風に考えると前向きで面白いんじゃないかと思えます。ただ選挙で何ナニ党に投票して、何ナニ党が半年で自衛隊をなくすとかね。そういうんじゃないで、自衛隊をなくす勢力をつくらうと思ったらね、その勢力によって全然別の日本になっていかざるをえない。憲法を革命宣言として使えば、とってもいい政治運動ができると思いますね。

—— 憲法の中には、天皇制のようによくない部分がありますね。ラミス 確かにそうですね。憲法の中に革命宣言が入っているとか、憲法を革命宣言として使うとか、何かうまい言い方がないですかね。

peaceの意味は……

—— 日本のいろいろな平和運動や反トマホーク運動について、感

想を聞かせて下さい。

ラミス その辺での僕の感想は、まわりの人とあまり変らないと思います。まず、何で人が集まらないんだろかと、感じるわけ。よく金太郎あめ現象と言って、どこへ行っても同じ人だという、それを感じます。60年安保世代と70年学園闘争世代の中に、なかなか治らない奴が何人かいて（笑い）、その人たちがずーっと死ぬまでやってくるわけよね。僕自身もそうだと思うんだけど、本当に社会が変えられるかも知れないと感じる運動に一回参加すれば、なかなか治らないというようなことがあるよね。

そういう世代は、すごく歴史的な影響あると思うんだけど、でもやっぱりそれも次の世代に伝わっていない。個人としては伝わっている人が居ますけど、一般の常識はそれと全然ちがう……。

ある意味でね、自民党の政策は成功してる訳よね。いくら少数者がこれは平和じゃなくて戦争なんだって言ってもね、戦争とちがうんだね。日本国内は平和なんです。そして、わりと楽しい生活してるんですね。そういう人たちに対

してね、罪の意識を持たせようと思っても、そういうお説教は最終的に通用しない。そこでみんな悩んでいる。私も新しい答えもってるわけじゃなくて、一緒に悩んでいるんですね。

いまの政策が、これまではうまく行っていると言いましたけど、いつもこんな比喻を思い出すんですね。ピルの上から飛べると思ってね、人が飛び降りたわけよね。そして、ずーっと落ちてるよね。ピルの50階とか40階とか通り過ぎて、飛び降りている本人は、まだ「大丈夫だ、大丈夫だ」「飛んでる、飛んでる」って。つまり、最後の瞬間までうまく行っているんだよね（笑い）。最後だけ、ちょっとまずいんだよね。そういう平和だと思ふんですね、いままでの平和は。

40年間平和が続いたということ、は、いままでの平和論から言うとな、たいしたものだということになるよね。そういう意味で自民党は成功してるわけ。しかし、いまの核時代にはそれじゃ足りない。そういう平和論が根本的に違っているんだね。日本国憲法は、そこを根本から違った風に書いてあると思

うんだよね。

——運動に対する具体的な提案があればして下さい。

ラミス 私も皆さんと同じように悩んでいるだけでいい解決策はありません。ただ、運動って、つく

「平和宣言」に異議あり！

被爆40年、その日本で防衛費一パーセント枠の突破、靖国公式参拝が進行する……。広島内部で昨年8月6日に出されたこの告発の一文を多くの人々に読んでいただきたい。この一文は英語、朝鮮語、ドイツ語にも訳され、広島に集まった多くの人々に配られた。同じグループの人々は、今年の8月6日、「私たちの平和宣言」を発した。

ヒロシマの平和運動のシンボルのように見られているのが8月6日に広島市長が読みあげる「平和宣言」です。皆だまって聞き、うなずき、新聞には大きく掲載され、各区役所には年中はりだされているのですが、あれでいいのでしょうか？ あれはセレモニーだから誰

れるもんじゃないですよ。そういう技術はない。予測できないところから、ワットと起っちゃうもんだよね。

だけど、いまある運動の組織を守ることはできると思うんだね。

も文句を言わないのでしょうか？

私達はあの「平和宣言」に次のような重大な疑問を感じているのです。皆さんも考えて下さい。

1、世界に向かって核廃絶を訴えながら、なぜ日本がアメリカ

運動の伝統を守っている組織を守ってね、少しずつ増やすことも、ものすごく大事だと思う。そういうものがなくなってしまう。日本は何もかも終わりになってしま

う。平凡だけれども、今やっている

の核の傘の下にあることを拒否

しないのでしょうか？

2、世界に軍縮を訴えながら、なぜ日本の軍備増強には一言もふれていないのでしょうか？

自分は武器をためこみながら、他に向かって軍縮が言えるのでしょうか？

3、昨年はパーシングⅡの西欧配備を批判していましたので、



8・6ヒロシマでダイ・インが行なわれた
(写真 飯田典子)

ことを続ける意味を考えたいですね。

ダグラス・ラミス 1936年サンフランシスコ生まれ。カリフォルニア大学で政治思想史を学ぶ。現在、津田塾大学教授。著書、『イデオロギーとしての英会話』他。

今年当然、トマホークの日本近海配備と日本寄港は拒否なさるでしょう。期待していますよ。荒木市長。

4、日本は「唯一の被爆国」ではありません。南太平洋をはじめ核実験に利用された土地の人々は皆、被爆者にうめいています。彼らとの連帯なしに核問題は語られないでしょう。さらに、現在のこの日本で原発によるヒバクシャが苦しんでいることを忘れないで下さい。

とにかく、今までの「平和宣言」がまことに怪しいものであったことがおわかりになったと思います。「平和宣言」を私達の手にとりもどし、ヒロシマからの本当の叫びにしようではありませんか。

1984年8月6日
ストップ・ザ・戦争への道／ひろしま講座

核の現場を歩いて

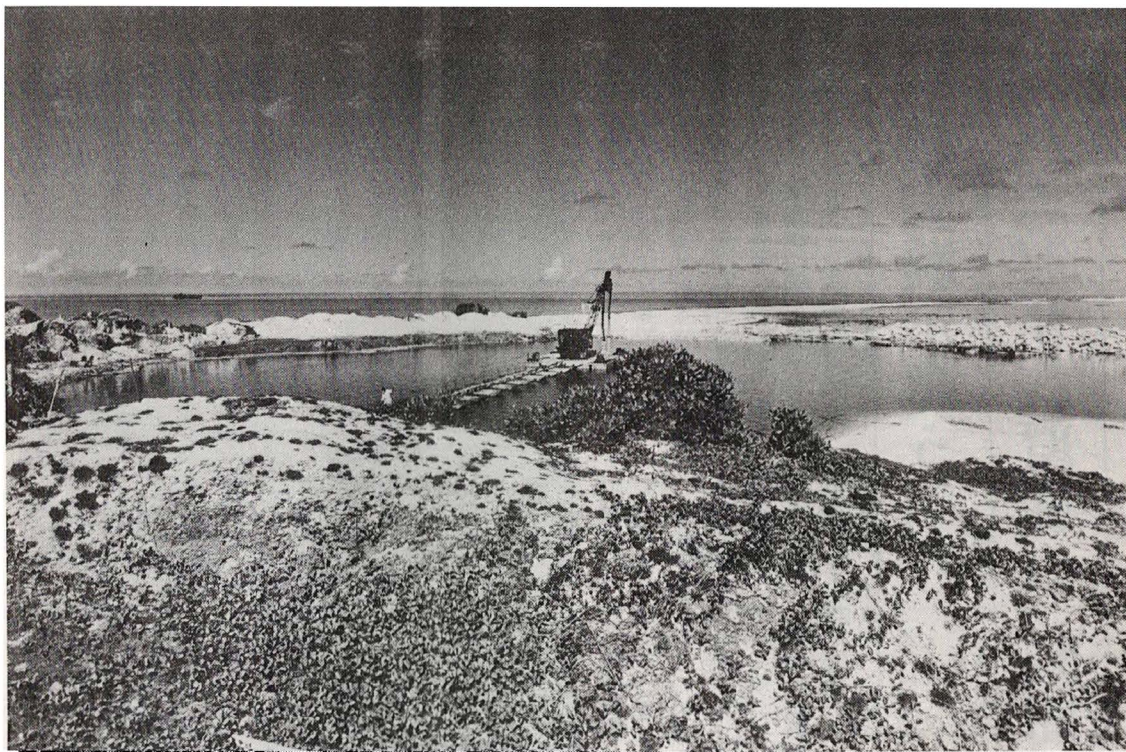
核の現場を歩くきっかけは、1978年3月のグアム島のアンダーソン米軍基地の取材でした。B52の同乗取材でグアム島に行った時、『パシフィック・ディリーニユース』という新聞に、ビキニの人びとが残留放射能の汚染によって島を出なければならぬという記事が載っていたんですね。それで「せっかくここまで来たんだか

ら、ちょっと行ってこようや」ということから行きました。マールシャル諸島に行って現実に見ると、1946年から58年までの核実験の影響で、20年たっても放射能がある。それが島を汚染し、魚もヤシの実も汚染し、島に帰った人々を汚染する。そういう現実を見た時に「核」というものは広島、長崎だけを起点に考え

豊崎博光 カメラマン

「核」のすべての段階で

被曝者が生まれる



▲ マールシャル諸島エニウェトク環礁で、1948～58年まで行なわれた43回の核実験のうちのひとつ原爆「カクタス」(18キロトン)でつくられたクレーター。(1978年撮影)

ていいものか。つまり「核」の被害はすべて、そこで終るものだということが頭の中にあった。しかし、被爆（曝）の実相が全部語られて来たのだろうか？というのと、20年たっても「核」の影響がつづいているその時間の長さに、太平洋の島々を歩いて気がついた。

80年4月にワシントンで「放射線犠牲者市民公聴会」が開かれた。そこでは、被爆兵士、核実験場の風下の人、ウラン採掘で被曝したインディアン、治療用の放射線を浴びすぎた患者、看護婦、医師など幅広い人びとが証言をしていた。この80年のアメリカの旅で、ぼくはインディアンやスリーマイル島原発など、のぞける所はのぞいて来た。そして「核」の全ての段階で被曝者が生まれる。しかも、それが、その部分で終わらず、継続して彼らは病気に苦しむ。……78年マージナル、80年アメリカ

が、ぼくを決定的に変えてしまった。

日本の広島、長崎の被爆体験から原水禁運動が「被爆者を二度とつくりません」というのであればすべての核を拒絶するしかない。原発をいかに安全にしても、核燃料の製造段階から被曝者を生んでいる。被曝を防ぐのは、ほとんど不可能だと思えます。そこに人間がかかわる以上は、誰かが被曝者になるわけです。核開発は、膨大な被曝者を再生産する。それも1940年代から50年代の被曝者の病状がやっと70年代から80年代にかけて見えてきた。だから、20世紀末には、別の被曝者がワッと出てくると思います。

取材によく行くマージナル諸島のほぼ真中にクエゼリン環礁があります。ここは、アメリカのICBMやMXミサイルの実験場です。アメリカ本土のバンデンバーク空

核実験が奪う

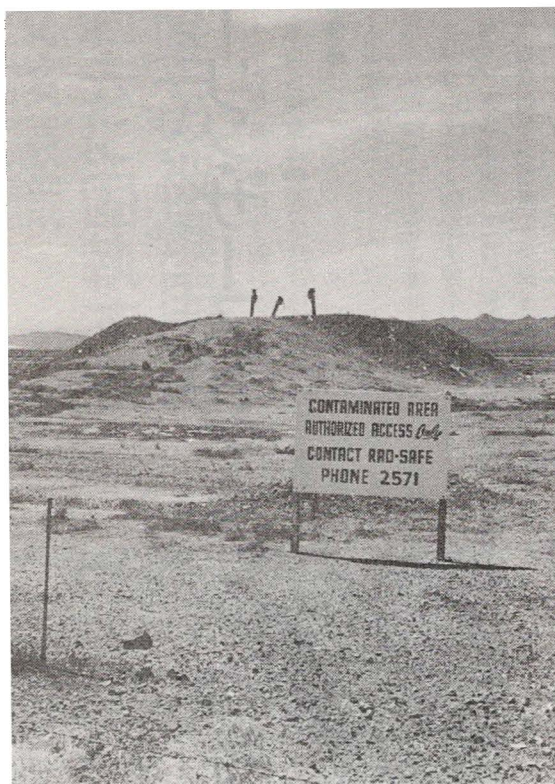
クエゼリン環礁の「時間」

の島は、アメリカ西海岸と同じ時間になっている。まさに時間も奪っている。その結果、マージナル諸島が金曜日であれば、クエゼリン環礁は木曜日。同じ島のなかで同じ人が住んでいても、丸一日おくれるわけです。そういうことまでして、ミサイルの弾道を捕捉するためのレーダー基地がたくさんクエゼリン環礁にあり、それがSDI研究につながっている。

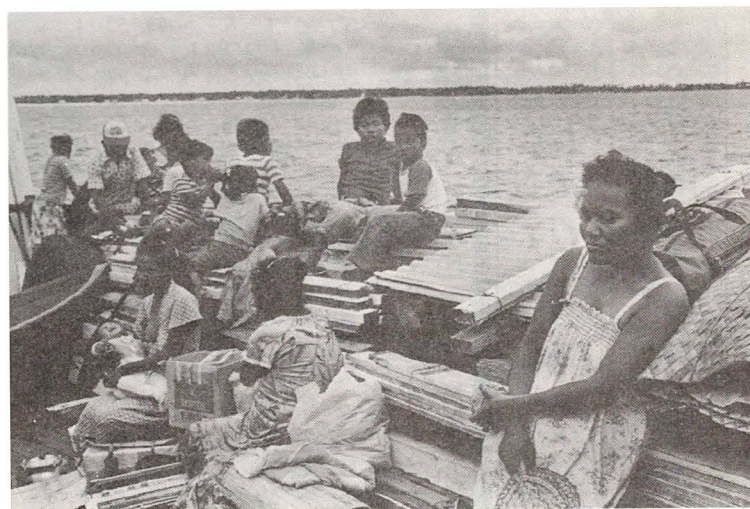
太平洋では、パラオが非核憲法をつくり、ミクロネシアも非核憲法をもっています。今年の3月には、サイパンが非核島宣言を出し、

バヌアツは非核国家宣言を、ニュージージランドも非核の立場を鮮明にしている。8月6日に「サウス・パシフィック・フォーラム」では、南太平洋の非核地帯化条約をつくりました。

そういった形での非核構想は、核兵器、核実験、核廃棄物の投棄貯蔵、すべてを禁止し、なおかつ部分的には、核動力の飛行機、艦船の領空、領海の侵犯、通過も認めないという形で打ち出されている。本来なら、こういう非核構想は日本がすべきだったと思うんです。しかし、悲しいかなわが国は、被



▲ 塔上核実験の爆発点（グランド・ゼロ）1950年代に核実験が行なわれたが、いまなお周辺地域は放射能に汚染されている。（1980年撮影）



▲ 31年前、1954年3月1日、マーシャル諸島ビキニ環礁で行なわれた水爆「ブラボー」（15メガトン）の死の灰をあびたロンゲラップ島民は、いまなお続く放射能の影響から逃れるため、ついに故郷の島を離れた。（1985年撮影）

軍基地からクエゼリン環礁にむけてミサイルが打ち込まれるわけです。距離は直線にして6400kmから7000kmで、アメリカ北部から北極圏経由でモスクワまでの距離と同じです。クエゼリン環礁では、この実験によって島民たちの基本的な生活環境を奪われているだけではなく時間さえ奪われているんですね。

マーシャル諸島は、国際日付変更線のすぐ西側にあって、世界で最初に日の出がはじまって、そこから西へまわって行く。一方、カリフォルニアのバンデンバーク空軍基地は西海岸にあり、相当な時間差がある。ところが、ミサイルの弾道を捕捉し計算する時は、この時差を入れるとめんどくさいわけです。それで、クエゼリン環礁

爆体験をもちながら、せいぜい非核三原則しかつくれなかった。それは、これまで日本の運動が、憲法9条とその理念、広島、長崎の体験のこの二つだけの空まわりをしてきたんではないのか。これは

戦後の原水禁運動をやってきた運動体はもちろん、それを支えてきた国民をふくめて日本の責任だと思えます。やはり、日本人は核に関する繊細さ、軍事戦略に対する繊細さに

非核太平洋につながる 日本の非核宣言を

どっか慣れてしまったのではない。むしろ、はるかに非核化をつづける太平洋の人びとに力があつたことを考えなければならぬ。日本もいま、ここでやらなければならぬと思うんですね。

南太平洋の11カ国と地域があれだけ広大な、つまり赤道より南はほとんど非核地域であると宣言をしているわけです。南極は南極条約で非核地域になっている。

それから南アメリカは、トラテロルコ条約という非核地帯化法案がでている。そして、パラオがあり、ミクロネシア連邦があり、サイパンもある。これで日本が非核化をすれば、朝鮮半島をふくめた非核地域化だと思えます。

もう、こういう大きな運動をつくらなければいけないと思うんです。非核三原則と憲法9条があつて、日本の非核宣言です。それは国内だけでなく、太平洋全域に継げて非核地帯を拡げる。そのことによって太平洋の核戦略化を、こちら側でとりのぞく運動を早急に取り組むべきですね。

豊崎博光 1948年横浜生まれ、東京写真専門学校卒業後、フリーのフォトジャーナリストとして活躍。78年より核の取材をはじめる。

ポーリン・サーストンさん



日本からのおみやげのこのほりを手にしたポーリンさん。

オークランド在住。37歳。6歳の男の子がいる主婦。

ニュージーランド（先住民はアオテアロアと呼びます）の反核グループ「アオテアロア平和運動」にかかわっているポーリン・サーストンさんは、6月に日本で行なわれた「核チェックと核艦船拒否を訴える全国運動」に参加し、約三週間にわたって各地を歩きました。そんなポーリンさんの日本体験は深刻なものでした。帰国後、彼女がニュージーランドの平和運動誌『ピースリンク』に書いた文章と、8月9日にオークランドで行なわれた長崎・広島記念日でのスピーチから、ポーリンさんの意見を抜粋します。

8月6日、私たちニュージーランド人は広島市の荒木市長が発表した「平和宣言」を聞いた。しかし荒木市長のメッセージは、広島市の原爆の犠牲者である被爆者をもつ

本当の思いを伝えただろうか？あるいは核問題について日本の社会の中に広くしみ渡っている「被害者」意識を単に強調しただけだったのだろうか？

8月6日に先だつ6月、私が日本にいた時、この点について多くの議論がかわされた。アメリカ海軍が1984年6月に配備を始めた海上発射巡航ミサイル「トマホーク」の配備反対運動に参加するため、私はニュージーランドの反トマホーク・キャンペーンのコーディネーターとして日本に招かれた。日本全国から一〇〇をこえる平和グループがこの運動に参加している。三週間半の滞在期間中、北海道の札幌から西の広島まで各地のグループの人たちと出会ったが、彼らの多くは、日本の反核運

動が広島と長崎の被爆体験という「過去に固執する」傾向があると語っていた。その傾向は次のような結果を生み出すことになっている。

- ①日本の多くの人々にとって、広島と長崎の恐怖はあまりにも大きく、感覚的麻痺と消極性が広く見られる。
- ②今日の軍拡競争における日本の独自の役割から目がそむけられている。
- ③そのことは、日本は二度と戦争の犠牲者になりたくないという希望を強めることになる。これが日

本におけるアメリカ軍の存在を維持する理由のひとつになっている。この二度と戦争の犠牲にならないという願望は、日本独自の軍事化を正当化するためにも利用されている。

私が会った何人かの人たちは、1954年のビキニ環礁の核実験によって始まった原水禁運動は、この「日本は被害国である」という立場からそもそも始まっている、と話していた。しかし今では彼らは自問している。最初に戦争をはじめた責任の所在は？ 真珠湾攻撃は？ 日本軍占領時における南京大虐殺は？（広島、長崎と同じ数の35万人の市民、子供、男女が殺された）そして戦後も戦争中の大臣を首相にまでしてしまった日本人の責任は？

●●●
最初の原爆の犠牲者たちが、今、アメリカが日々増やし続けている

「唯一の被爆国」の過去に固執する反核意識

核爆弾の貯蔵主になることを強いられている。日本にはアメリカの諜報基地、通信基地、空軍基地、海軍基地が密集している。アメリカの核巡航ミサイル「トマホーク」は過去12ヶ月の間、たえず日本の港に出入りし、日本は核ミサイルの発射台になっている。核戦争の犠牲者は、今や核兵器競争の侵略者になってしまった。

1971年、日本政府は核兵器の製造、所有、領土内への持ちこみを禁ずる政策を正式に採択した。しかし、この「非核三原則」について、日本のほとんどすべての人たちは、守られていないと思っている。世界最大の「民主主義」の国アメリカがこの政策を尊重したことはない。中曽根首相は、ニュージーランド政府がやっているのと同様に、自らの領土から核兵器を放逐する政策と権限をもっていながら、自国の民衆を欺き、国際

舞台では偽善者を演じている。このことは、太平洋で行なわれた過去40年の核実験で死んだ人たちが、今なお苦しんでいる人たちへのまったく許しがたい忘却を示すものだ。

●●●
1947年に創られた日本国憲法の第九条にはこうある。「日本国民は国権の発動たる戦争を永久に放棄する。（中略）この目的を達するために陸、海、空軍その他の戦力はこれを保持しない」

にもかかわらず、日本の軍事支出は世界第8位。国民総生産（GNP）の1％が問題になっているが、世界で2番目に豊かな国のGNPの1％という金額は、決して少なくない指標だ。アメリカ政府のたび重なる要請で、日本は次の5年間の軍事増強に800億ドル（約20兆円）を費やす計画をたてている。また、レーガン大統領の提唱するSDI（スター・ウォーズ計画）に、中曽根首相は興味を示し、研究に協力しようとしている。

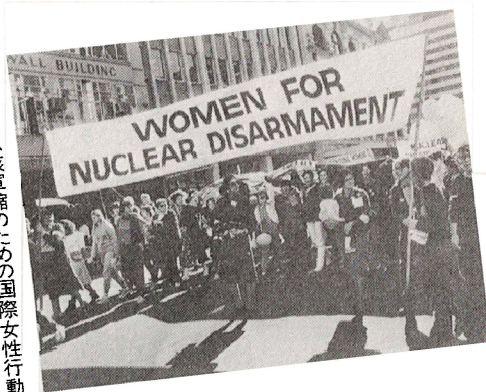
日本の平和運動は「原子力の平和利用」という政府の活発な宣伝によって妨げられている。日本の

電力供給の20％を占める原子力発電は、今後さらに増える予定だ。この原子力発電の恩恵はマスコミや教育システムによって宣伝され、日本の工業や雇用が原子力発電に依存していることを認めている。しかし、使用済み核燃料廃棄物の投棄の問題がある。（このことはアジア・太平洋の人々と日本の平和運動との連帯をむずかしくしている点でもある）そして下北半島に核燃料サイクル施設が作られれば、原子力発電の平和利用と原子爆弾は結合してしまうだろう。

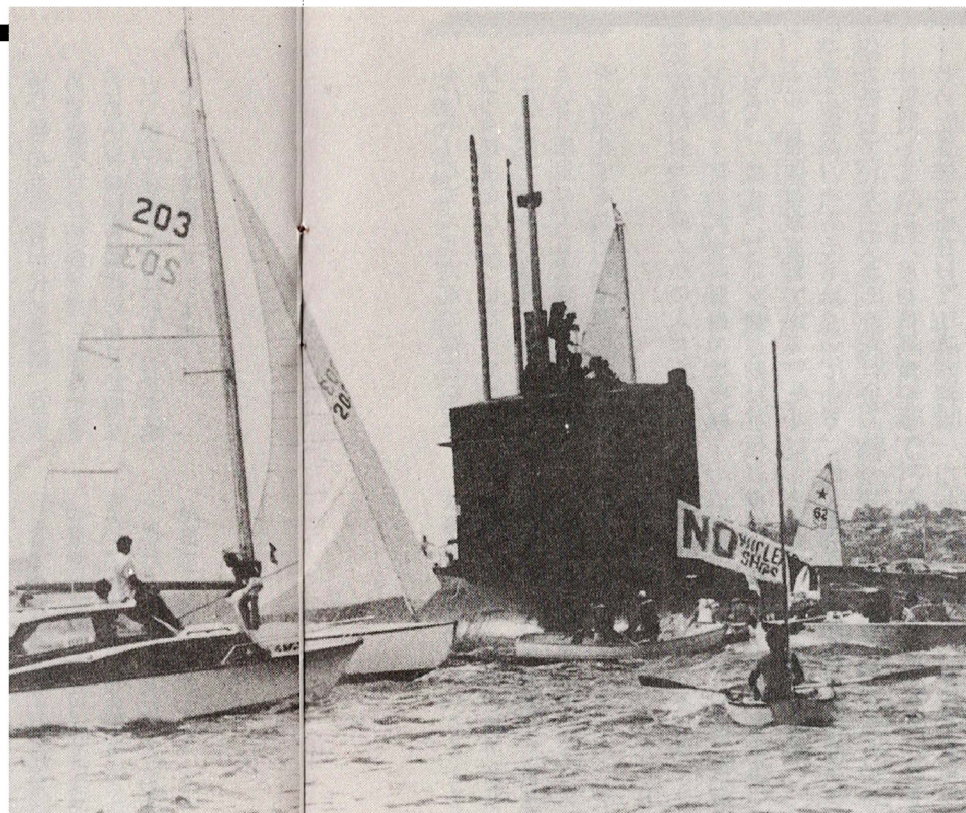
●●●
日本の平和運動は、アメリカと日本の両方の恐るべき戦争マシーンと伝統的な軍事力崇拜に直面している。日本人はますます保守化し、順応主義者になっているようだ。若い世代の多くは第二次世界大戦へと導いた日本の役割について、ますます無知になっている。

平和グループの中の多くの人は、日本人々がアメリカの核兵器が日本にあることを既成事実として黙認する一方で、平和憲法と非核三原則をたてまえとして選んでいることにいらだちを覚えている。

ニュージーランド 反核運動 あれこれ



一九八三年五月二四日、核軍縮のための国際女性行動。ニュージーランドの平和運動がもたらした、きつかけになりました。



アメリカの原子力潜水艦を阻止するためにヨットやボートでこぎ寄る人々。



非核政策をかかげた労働党が政権をとった日には平和のこいのぼりがたてられました。

ポリンと人々の 返書に代えて

核艦船の拒否がニュージーランドにできてなぜ、日本にできないのでしょうか。これは誰でも感じる事です。では、ロンギ首相は何をやったのでしょうか。ロンギ首相の説明によれば、「まず反核世論が高まり、その世論をテーマにした政党が選挙に勝ち、反核内閣を作って、アメリカに反核通告をした」となっています。すなわち

たぶん日本人は全体としては「受動的」であって、「平和主義者」ではないと言えるだろう。

8月6日、広島からのメッセーは世界中に広がりを持って照らしただろう。しかし、その灯台の下は暗く、さらに暗くなっている。2年前、画家の丸木位里・俊夫妻の描いた広島島の惨状の絵が、検定によって教科書からはずされたと聞く。日本の朝鮮、中国、アジアへの侵略の歴史、今世紀三度にわたってロシアを侵略したこと、これらの事実は広島島の平和公園を毎

年訪れる何万人もの生徒たちは、学校では教えてもらえない。

私が会ったすべての人々は、ニュージーランドの核艦船拒否政策に大いにはげまされたと言う。私たちはひとつひとつの個人の努力や集団の努力を軽く見てはいけません。私の希望は、反トマホークとともに歩む者同士として、日本とニュージーランドのネットワークをより強めることだ。

(訳) 村田則子、梅林宏道、見出し・文責(編集部)

地盤となった反核世論にはじまり、最後の反核通告は首相が打つ。これは湯川・朝永宣言とピタリ一致します。日本には市民運動はあっても反核内閣は考えられていません。これではニュージーランドと同じことはできません。今後は反核内閣の成立を目ざして、草の根市民の代表をどしどし国会に送りこんでタカ派を追放し、草の根市民による平和国会に改変する努力が必要ですよ。

かくしてはじめてニュージーランドと同じことができることにな

ります。ニュージーランドは日本の一日も早い立ち上がりを待っています。ロンギ首相を孤立させるな！平和国会を早く作ろう！

(岡田 進)

● ● ●
あのちょっとユーモラスな形のキウィ・フルーツを店先に見かけると、つい手をのばして産地を確かめたくくなります。めったに買うことなどなかったキウィ・フルーツが、この頃はふっとポリンさんを思い出させてくれるのです。

しなやかでいてしかも一本強じんなもので貫かれている、あのきやしゃな身体のポリンさんに深い共感を覚えたのは、そんな彼女の背後にあるニュージーランドの人々の平和運動、それも女たちがつくり上げている平和への連帯に言うに言われぬ羨望と憧憬を感じたからでしょうか。「主婦の力を獲得できればその運動は本物です」という彼女の言葉にため息をもらいました。というのも、主婦の集まりそのものの生協にかかわりながら、その中で平和を語り反核を語っていくことの難しさにいつもぶつかっているからです。日常や

っている食とか環境の運動と平和の問題とがなかなか一本につながらない日本の主婦たちの意識、それは何なのかと思うのです。ニュージーランドの主婦たちはなぜ、という疑問にポリンさんはこう話しました。「ニュージーランドは女性差別のはげしい国です。性的暴力はひどいものです。女たちはいつもそれと闘ってきました」。はじめは耳を疑い、それから日本の女性差別に思いをいたしました。社会にあふれている差別をひどいものだと感じるか、その実情を差別とさえ感じないのか、それが意識の差となって現れるのかも知れない。彼の国の女たちは日頃差別と闘い、その同じ線上で平和運動を捉えているのでしょうか。差別は平和にとって大きな敵だと考える時、よく理解できるのです。女たちにとっては差別のない社会と平和な地球とはまさしく同義語であり、それをかちとるための行動は一樣に環境運動に他ならないのです。それに気づいた女たちが少しずつ共鳴の輪を広げることでした。日本の女たちによる平和運動は大きくならないのでしょうか。残念なことに、文化庁長官がレイプ

奨励と見まがうような発言ができるお国柄なのですから。

（横川昭子 生活クラブ生協、反核平和委員）

●●●
ポーリンさんは、核をめぐるニュージーランドからの報告の最後に、先住民の連帯—マオリ族と太平洋の先住民との連帯を作ることに必要について触れた。その後質問に答える形で、オークラン

ドのマオリが毎年南太平洋の先住民族を招いて集会を開いていること、4年前、反核行動の通信網を作る時、マオリの人々が重要な役割を果たしたこと、しかし抑圧、貧困に追いこまれたマオリ民族の中に独立をめざす動きもあって、後から来た人々（白人）との間にトラブルが生じやすく各団体に散らばっているフェミニストたちが

調整に力を尽している現状について説明してくれた。
交流会でのポーリンさんの話は、ほとんどマオリ民族に関するもので、アイヌ民族の歴史と現状にからませながら話はずんだ。ポーリンさんは、学校で習った歴史の中にマオリのことがいっさい出てこなかったにもかかわらず、違う言葉を話し、違う生活様式を持つ

たマオリの人々が実際にいると知った時、それまでの価値観がふっとんでしまったのだという。ポーリンさんがマオリ民族のことを話す語り口、その知識の質と量、それは単なる関心事などではなく、彼女自身の存在に深く重なるものであったなあ、と思う。
（大和説子 トマホークの配備を許すな／反核北海道行動'85）

私たちは日本の非核の実質化にむかって行動します

●反トマホーク第三期キャンペーン開始にあたって

西太平洋・東アジアの一角に横たわる日本列島に起きつつあるこの黒い雲は、アメリカのレーガン大統領の核戦略と一体となって、いまや世界の民衆の上を覆い、抑圧を強め、戦争の危機をつくり出しています。

日本に住まう私たち民衆は、この歴史の節目をどう生きようとしているのでしょうか。
少なからぬ人々が、今の状況に危機感を抱いています。そここ

で、この流れを変えるために、さらには、新しい価値感を生み出し、もう一つの生き方を創造するため、新たな努力を始めています。
私たちがここに宣言し、呼びかけるものも、このような努力の一つです。とりわけ、私たちは、アメリカの核戦略を西太平洋において担うために急ピッチで進められている日本の軍拡と日米軍事協力を止めさせるために、極めて有効な一つの目標を提案し、その実現

のために、ともに歩んでくださることをみなさんに訴えます。
その目標とは、日本の非核の実質化を実現することです。さらに具体的には、とりあえずすべての核艦船の入港を日本のあらゆる港で拒否することです。

非核三原則ができて14年が経過するにもかかわらず、日本の非核化は実現していません。それどころか、トマホーク配備により状況はかつてなく悪化しつつあります。

こうなった最大の理由は、日本の民衆の中に切実なものとしてある反核の願いを、核廃絶という一般的目标へと遠ざけてしまい、政治を民衆の希望を実現する自己決定の回路としてつくり出していない、民衆の政治力量の弱さにあると思います。平和をおびやかしているものは、もっと具体的なものであり、それと対決する民衆の行動が必要なのです。

ニュージーランド民衆の反核の意志は、ロンギ政権を動かし、核艦船の入港を拒否しました。この行為は、ついにアメリカ、オーストラリア、ニュージーランドの間のANZUS軍事同盟を解体寸前にまで追いこんでいます。

アイスランドの非核決議は、9月、NATO（北大西洋条約機構）最大の軍事演習において、アメリカの軍艦のすべての領海への立ち入りを不可能にしました。NATOの一角が崩れました。

「日本でだけ非核を実現しても意味はない」という意見があります。朝鮮半島の核などを私たちは忘れてはならないでしょう。しかし、日本の非核を本当に実現すれば、それが限らない波及力をもつ

ことは、ニュージーランドやアイスランドの例からも明らかです。
非核自治体に住む人々の数が、日本の人口の40%を越えている今こそ、私たちは日本の非核の実質化にむけて知恵と力を集めて行動すべきだと思います。

トマホーク配備をめぐる日米両政府と私たち民衆のせめぎあいはまだ続いています。アジア・太平洋民衆をはじめ、世界の民衆が、核艦船拒否の共通の目標で手を結びつつあります。1985年10月

から1カ年、反トマホークの第三次キャンペーンを発足させるに当たり、日本の非核の実質化へ力強い一歩を踏み出そうではありませんか。

1 多くの方々がこの宣言文の呼びかけ人になってください。

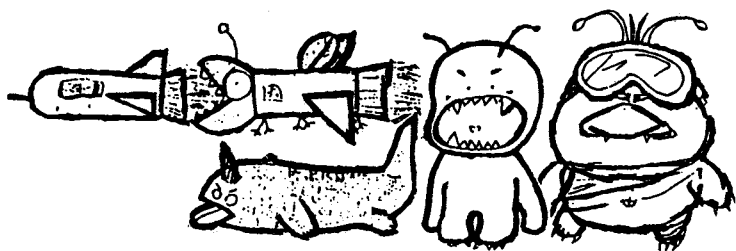
2 キャンペーンへの提案、意見を寄せてください。

3 このキャンペーンの趣旨をあなたの可能な手段で広めてください。

1985年10月

（この文章は、反トマホーク・第三期キャンペーン発足に当って、大勢の人びとが連署する宣言文として起草されたものです。

「トマホークの配備を許すな！全国運動」では、この宣言の趣旨に沿って、①核トマホーク搭載が確認されている艦船（今のところ、太平洋艦隊では戦艦ニュージャーシー、駆逐艦メリル、原子力潜水艦ギタロー、ラホヤ、ヒューストンの5隻）の入港時には全国一斉に強い抗議行動を起こすとともに、非核証明の提出などを求めて無期限ハンストをするなどの強い行動を起こす。②核指令のための通信基地など全国の基地への反対運動を強める。③反トマホーク・アジア太平洋運動と連携し、国際的な共同行動を展開する。④米韓合同軍事演習チームスピリット86、環太平洋統合演習リムパック86、太平洋・インド洋にわたる大規模演習に反対する行動を起こす。日韓練習艦隊の相互訪問も含め、日本の自衛隊のこれらの演習への関与、協力を明らかにし抗議する、などの行動にとり組むことを、とりあえず決めています。



北海道 反核「道民の船」 10月6日出航

●8月24日～30日に開催した「子供たちに伝える戦争展」にはさまざまな戦争を伝える写真パネルの中に、実物大のトマホークの模型が登場しました。毎年8月に戦争を考える共同の企画が行なわれて来たが、今年の企画がこの戦争展。●これが終わっていま私たちは幌延の核のゴミ処理「高レベル施設」の計画を動力炉・核燃料開発事業団（動燃）に止めさせる行動に集中しています。その中心が、反核「道民の船」。10月9日に苫小牧を出航し、10月10日船中市民大学、10月11日東京着、動燃への抗議行動、帰りは飛行機という一〇〇〇名の大行動です。主催は札幌地区労働者も入った「反核道民の船」実行委員会。現在、動燃は事前調査の申し入れを横路知事にして来ており、これをね返すことが攻



防の焦点になっています。トマホークの配備を許すな／反核北海道行動011・746・2801

東京 アトミック・カフェは 不滅です！

●第3回アトミック・カフェ・フェスティバルは、昨年と同じく東京日比谷野音で8月3日に開催された。今回は、出演者を発表せず反戦・反核というテーマでコンサートを企画するという他に例を見ない形で行なった。主催者としてはほとんど赤字覚悟、やることにだけ意味を見出して強行したのだが、驚いた事に私たちの予想を上回る1700名近い人々の参加をえた。おかげで黒字。私たちA C Fの存在も、それなりに認められた結果なのではと勝手に解釈し、次の企画に取り組んでいる。アトミック・カフェ03・444・6751

横須賀 わが街再発見的 反核町内ねり歩き

●トマホーク原潜が入港するたびの基地ゲート前での抗議行動が続いている。はじめて抗議文を受けとらないと言いつける当直将校が

あらわれて、イエロー・ラインを

とびこえ横断幕が広げられた。ゲート前でのこうした切実な右往左往が「私たちの文化」だとみんな

が大きくなっています。反核、反基地運動をやっている私たちが、このことにもっと敏感になる必要

●最近ちょっと変わったことがあつた。8月15日に寄港する予定だっ

が進行する現在、反対勢力の圧殺と国民に対する恫喝を目的にして

た。8月15日に寄港する予定だったステージン級原子力潜水艦が入港予定の一時前に突然寄港を中止し引き返したのだ。連絡があつたのは予定時間を37分過ぎてからであつた。

日市連では、パンフレット、ポスタレットなどを緊急に作製中で

東京 ネットワークづくりに あらたな意欲

●草の根署名運動は9月29日に反核ウォークラリーというものを実施する。なんと「神奈川新聞」が後援。「わが町再発見的反核町内ねり歩き」、あるいは「反核合法的無届けデモ」というわけだが、なにしろ初めてのことでどうなるか。ゴールは基地ゲート。10月10日には臨海公園で市内の7バンドが出演して反核コンサートをひらく。●非核市民宣言運動ヨコスカ(0468・25・0157)

●トマホークの配備を許すな／全国運動が、みんなの力を少しずつ出しあって維持している事務所(トマ喰い虫社)を、ネットワークづくりのためにもっと活用しよう、いくつかの企画が進行中。●一つは反核研究室。『エコ・ピ

東京 スパイ防止法に もっと反応しよう

まさかと思われていた「国家機密法」(極刑が設けられる)が、10月の臨時国会で成立する危険性

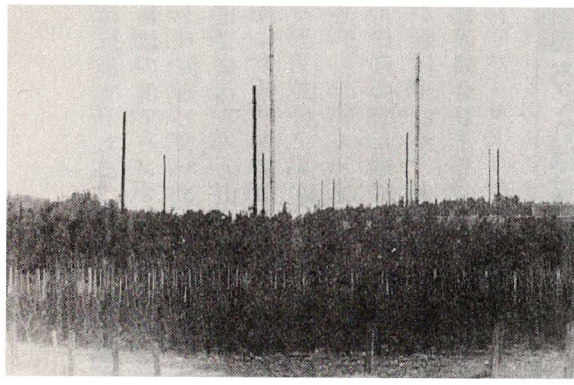
●ピースバス・PARTⅡが、企画に新しい仲間を加えていま準備の真只中。9月22日～23日、首都圏の基地をめぐり、夜には反基地

運動ティーチ・イン。

●海外の運動から切望されていた英語版トマ喰い虫・ニュースがとうとう出た。B5判4ページのささやかなものながら、海外の友人にとって貴重な情報源になるに違いない。トマ喰い虫社03・813・1953

上瀬谷 「ウドの会」が 生まれる

野菜のウドを漢字でどう書くか知ってますか。「独活」と書きま



知 スライドができた！ 愛 テープつき八千円

●この秋、10・21国際反戦デーに行動しようとする議論をおこしている。9月18日にはそのために軍拡、靖国、教育、行革、それぞれの視点から論じながら、中曽根政治総体を撃つ討論会を開催する。

●刈谷市にある依佐美送信所撤去の運動は長期的な積み重ねの必要な運動である。当面①来年5月までに周辺住民アンケート調査を500戸あつめる(このためには800戸以上の訪問が必要だと考えており、周辺住民の50パーセント

をカバーすることになるだろう)。

●スライド「依佐美送信所とアメリカの核戦略」が完成したので反基地運動に活用していきたい。コピーセットを販売します。35コマ、20分、ナレーション・テープつき8000円です。あいち反戦の会052・762・5118

●スライド「依佐美送信所とアメリカの核戦略」が完成したので反基地運動に活用していきたい。コピーセットを販売します。35コマ、20分、ナレーション・テープつき8000円です。あいち反戦の会052・762・5118

美保 美保基地都へ ひびきとる取り組み

6月2日、全国の通信基地反対同時行動の日より一週間おくれ、美保基地群のひびきとる現地見学と、おそろく初めての中国地方の反戦・反基地グループの交流会が行なわれた。広島、呉、岡山、日本原、松江、安来などの仲間が参加。美保航空基地(米子空港として民間共用)、高尾山三次元レーダーサイト、美保通信所(象のオリ)よりなる基地群を見学するとともに、中国地方の反基地運動の連絡、交流を強めてゆくことを確認した。

美保基地を、初めてC I核通信網との関連でとらえることができ、

おどろくとともに運動強化の必要性の思いをあらたにしている。

この秋には、美保基地に第七移動警戒隊が走るレーダー・トラック10台をもって新設されようとしており、美保は有事即応の実戦的通信基地としての性格を強めようとしている。米子市政研0859・33・6475

京都 キャラバン、ハンストに フル回転です

●6月3日から6月16日まで、「ノ・トマホーク／F-16三沢配備阻止／京都―三沢―東京二五〇〇キロ・キャラバン」に取り組んだ。車1台と5人の仲間のキャラバンは、実に多くの出会いの旅であった。「見ず知らずの私たちの依頼にデンワ一本で応じて下さって宿を提供して下さい」と報告されている行脚の姿は、旅の第一夜を語りあかした小浜(福井県)の中島哲寅さんの反核の記録のようだ。報告のパンフが出ていますのでぜひ一読を！

●8月6日午前8時15分、原爆投下の瞬間から8月15日正午敗戦の時刻まで、巡航ミサイル・トマホークの配備、核攻撃機F16の配備

に抗議するため、四条河原町の高島屋の前でハンストに取り組んだ。十日間通してハンストをしたのは足立修行さんと山下円美さん。それに多勢の支援のハンストが加わった。広島、長崎からの帰途、外国からのゲストが多く立ち寄り、九日目は九州から伊藤ルイさんが駆けつけた。トマホーク阻止京都連絡会075・255・1261

呉 おくればせながら核チエック署名スタート

おくればせながら核チエック署名が始まった。中曽根首相あてと同じ文面で呉市長の名を併記して第一次分約900人の署名を8月7日、呉市長に提出、呉で核艦船拒否を実現する本格的な闘いを準備するための第一歩と考えている。8月7日が選ばれたのには理由がある。毎年、対潜核アスロツク積載可能艦が広島の日の前後に呉に来る。それを迎え撃つ形で市長への申し入れを考えたのだが、今年第七艦隊の旗艦ブルーリッジが8月8日～10日と呉にやって来た。8月5日横須賀を発って自衛艦の護衛艦シラネ、ムラクモと通

信訓練をして来たものである。トマホークの配備を許すな／呉市民の会0823・73・4660

広島（ヒロシマ）の原点をめぐりて

8月5日の「被爆四十年―8・6ヒロシマ」の原点をとりもどそう／8・5反戦・反核広島集会」は予想以上の成功であった。当日出された基調報告は、多くの人々の関心を呼び、集会後も活用したいという声が届いている。被爆の原点を深めることを通して今日の核情勢を照らし出そうとした共同作業の賜物である。参加350人、主催は実行委員会。基調報告文を手に入れた方は082・248・1351松江澄事務所まで

岡山「原爆の図」展、そして日本原実射演習阻止

岡山にも新しい市民運動の芽がふいた。8月24日から28日までの5日間、丸木位里・丸木俊「原爆の図」岡山展が開かれ、9千余にのぼる市民が入場、反核の思いをあらたにした。

●また日本原基地では、一歩梓撤廃などの中曽根政治を背景に、一

気に演習場全面使用をめぐろまんと、新中央射場での実射演習を開始した。演習場内工作、とりわけ一番奥にある奥鉄男さんの耕作地への通行を妨害するなど緊張をましている。

●反戦馬天嶺は7月27日・28日、岩国、美保、呉など中国地方各地の反基地を闘う仲間の参加をえて日本原行動を成功させたが、それを皮切りに地元農民、美術（みまさか）地評の労働者とともに月4～5回ある新中央射場での実射を阻む行動を組んでいる。トマホークの配備を許すな／岡山行動0862・32・4561

広島 反核・フィリピン―ヒロシマ交流の旅

6月に非核フィリピン連合のエルモ・マナパット氏が来て集会をもったことが一つの契機になって、かねてから計画のあった「反核・フィリピン―ヒロシマ交流の旅」が実現した。8月17日から25日、参加者は、三人の60代被爆者を含む6人。バターン半島でフィリピン反核運動の底の深さに感動した。スービック基地を訪れたが、片田舎ですぐに船のアレンジができた

り、色々な人々が私たちのために働いては消えていく。6月の人民ストライキに参加した若い労働者の表情が、厳しい状況下で明るく希望に輝いているのが印象的だった。（梶岡秀・談）フィリピンの人々と交流するヒロシマ市民の会0823・22・0962

岡山 反トマ全国会議の福準備で大わらわ

九州はいま全国づいて、忙しく回転している。9月21日～23日は熊本県玉名市で第五回地域をひらくシンポジウムが九州住民闘争合宿運動の主催で開かれる。そして一週間後の9月28日・29日にはトマホークの配備を許すな／全国運動の第六回全国会議。全国会議にむけてはすでに8月、9月に打合せ会議をもって内容を深めプログラムを確定、案内の発送もすませた。この共同作業の中で、せっかくのこの機会を利用して、反核、反安保の日常的なつながりを九州の中でつくり出すという話が生まれている。軍拡・行革・改憲の中曾根を打ち倒そう／福岡共同行動092・641・7923

ずっと

7月7日、渋谷の公園で石垣島新空港建設阻止のため、自保の海を守る東京集会」が開かれたとき、自然保護連合の仲間の一人が「今日は7月7日。この日は8月15日より大切な日だと思うが、忘れられているのか何のアクションもないですね」と語った。7月7日とは、1937年、ロコウキョウで日中戦争の口火が切られた日。8月15日が十五年戦争の帰結である（に過ぎない）とすれば、その15年の軌跡の一節一節が重要だが、特に中国侵略を決定したその日の意味は非常に重い。さらに満洲を狙った1931年9月18日のリュウジョウコウも重い。8月に行なわれる数々の平和行事が、いかに戦争の悲惨、ヒバクシャの苦痛、敗戦の深刻さを訴えようと、それが被害者の立場にとどまる限り容易にヤスクニに結びつく。反核の運動も被害者の立場だけに立って

はダメであろう。私たちは、7月7日の前後の日、毎年伊豆の「中国人殉難者慰霊碑」

先頭に立つ元海軍将校 ●井手敏彦

全国自然保護連合理事

の前に立つ。戦争中、強制労働のため日本に連行された中国人俘虜は約5万名。栄養不足と苛酷な労働によってその三分の一が亡くなった。伊豆の鉾山にもそれがあり、84人の遺体が山の中に埋もれていることを知った私たちは、1953年にその遺体を発掘、茶毘に付して法要し、遺骨を本国に送還した。その地に慰霊碑を建て毎年法

当局や議会と交渉を続けた。強く訴えることは、かつて「いくさ場」であった島の苦悩に満ちていた。いまでも一日往復16便のジェット機が飛んでいるのに、何故それ以上の大型機が必要なのか。仮りに大型機を必要とするとしても、その発着は現在の空港の若干の拡張で足りる筈ではないか。何故に世界有数のサンゴ礁をつぶし魚湧く

要する。それは加害者の実感に迫られるときである。7日の東京集会のあと那覇に飛んだ。県議会で石垣島新空港促進の陳情が採択されるという情勢があつて、住民たちはハンガーストを含めて県庁前で座りこみの抗議行動を行なったのである。青年も女性もジイサンもバアサンも、炎天の下に懸命の面持ちで座りこみ、

海を無きものにするのか。そういう切実な問に対して、返ってくるのは空しく情熱なき言葉でしかなかった。住民の心には「いくさ場」の思い出とともに、シーレーンの臭い臭さが焼きつくのである。基地と開発が集中する島、オイルロードの中心であり、必ずシーレーンの要となる島。沖縄をおおう現実のなかで、こんどの新空港

強行がシーレーンと無関係であるという責任ある言明や保証は一つもない。沖縄は、ふたたび軍事的経済的な太平洋戦略の生けにえとされるのである。そして繁栄を謳歌する私たちはまたしても沖縄に對する加害者になろうとしている。「今や、日本も独自の経済ストラテジーを持ち、自らのコストで経済国境を維持しなくてはならない。自らの影響力を拡大するため意思と戦略を持つことは、まさに『生きる』ということだ」。これは、昔の大東亜共栄圏の構想ではない。「経済安全保障を考える会」なるものが1976年に公表した「日本経済確立への提言」のなかの文章である。そしてこの提言はその具体策として、①領土の拡大、②自由円圏の設立、③経済援助の戦略的活用、④海外への人的投資の拡大、を提案している。十五年戦争のイデオロギー、聖戦の構図はいま復活しつつある。ナカソネ元海軍将校がその先頭に立つ。（8月27日から第3回目のピースボートに乗ってアジアを廻る。そしてそこに日本の投影を見て来ようと思う。日本は真にアジアの一員たり得るだろうか）

反トマ運動、米海軍のトマホーク論争を揺さぶる

——CIAベテランの証言——

日本における反トマホーク運動がアメリカのCIAのベテランの戦略研究家に影響を与え、トマホーク配備に疑問を呈さしめていることが明らかになった。アメリカ海軍研究所の紀要『プロシーディングズ』85年1月号に掲載された「制御できないトマホーク?」と題する論文がそれである。著者のラッセル・ヒップスはワシントンに近いシンク・タンク「システムズ・リサーチ・コーポレーション」の国家安全保障研究部長で元海兵隊員、CIA 22年のベテランである。論文の関連部分を引用すると、次の通りである。

▶アメリカのいかなる艦船にも海洋発射巡航ミサイルSLCMが配備されている可能性があるという事実は、アメリカ海軍を存在誇示の目的に使うという効能を究極的に奪ってしまうだろう。すべての海軍の示威行動を核のサーベルをガチャガチャ鳴らす演習に変えてしまう可能性がある。アメリカ合衆国が海軍を外交的目的を支援するために使う場合が多くあるが、その場合、核能力を有しているというシグナルは挑発的になるだろう。たとえば、戦艦ニュージャージー(BB 62)がレバノン沖に配備されたとき、仮に予定されている核SLCMが装備されていたとするならば、ニュージャージーの存在それ自身がアメリカの介入のエスカレーションと見なされたであろう。また、その地域の敵陣営に対して格好の攻撃目標を与えたことになるだろう。なぜなら、もし彼らが戦略核兵器発

射艦を攻撃したとすれば、彼らはただちに功績を認められたであろうからである。核戦力と非核戦力の区別をあいまいにすることによって、SLCMを装備したアメリカ海軍は新しい形のハンディキャップを背負うことになる。

▶核SLCMは海軍の船の寄港や母港化の調整に関するデリケートな交渉を行なうに際して、アメリカと同盟国との関係を複雑にするであろう。アメリカの同盟国の中には、核能力艦の寄港に対して大規模な抗議や反米デモを組織する社会的勢力を有する国がある。事実、日本の市民組織の連合が、すでにトマホーク配備に反対して集会を行なった。もしすべ

てのアメリカの艦船が核の発射台となるとすれば、友好的な港であっても将来の寄港は複雑化し争いを生む要因となるであろう。

このヒップスの論文は最も明確な運動への反応であるが、核艦船拒否の動きが拡大する傾向を憂慮して、海軍担当者の反応が見えて来ている。太平洋軍最高司令官クラウ提督は、1984年7月、ワインバーガー国防長官に対して「外国の港がアメリカ海軍の訪問に対して開放的であり続けるように努力しているときに、ハワイの港に『お断り』の看板を立てられたら私は最もガックリくるでしょう」と報告している。最近反戦研究者グループ「ノーチラス・リサーチ」が入手した資料によると、最近統合幕僚議長に指名されたクラウ提督は、「われわれは、この傾向を変えるために精力的に動いている」と海軍の能動的な対処を表明している。

トマホーク装備艦名に確実度のランク付け

トマホーク搭載艦の追跡調査を精力的に行なっている反トマホーク・アジア太平洋キャンペーンのネルソン・フォスター氏は、入手データの再整理を行ない、トマホーク搭載艦を特定する際の確実度を次の三段階に分類している。

I トマホーク発射装置を装備したことが確認されているもの(以下「確認艦」と略す)

戦艦アイオワ、ニュージャージー、駆逐艦メルリ、コノリー、デヨー、攻撃型原子力潜水艦ギターロ、ラホヤ、ボストン、バルチモア、アトランタ、ヒューストン

II トマホーク発射装置を装備したと推定されるもの(以下「推定艦」と略す)

誘導ミサイル巡洋艦サウスカロライナ、コム・ド・グラッセ、攻撃型原子力潜水艦オーグスタ

III トマホーク発射装置を装備している可能性があるもの(以下「可能性艦」と略す)

駆逐艦スタンプ、攻撃型原子力潜水艦フェニックス、ミネアポリス・セントポール、ハイマン・リックオーバー、サンフランシスコ、ノーフォーク、バッファロー、ソルトレークシ

シー、オリムピア

(注) 前回のこの欄で「トマホーク装備と確認された潜水艦名は以下の通り」として記載したものは、今回フォスター氏の再整理では三種類に分けられており、従って前回の「確認」という表現は今回のものとは区別されなければならない。

確認艦として名が出されているもののうち、太平洋艦隊所属のものは5隻であるが、その5隻について、確認の根拠を以下に示す。

①戦艦ニュージャージー(1983年3月に近代化、装甲箱型発射台8基を備える。母港ロングビーチ)

1. 『プロシーディングズ-海軍レビュー誌』1984年、p. 161 / アジア太平洋防衛フォーラム(1984年夏) p. 5 / 下院軍備委員会におけるホステットラー海軍少将

の証言、1985年、タイプ打ち原稿。(p. 10に「最新のトマホークの基準線になった」とある)

②駆逐艦メルリ(装甲箱型発射台を82年4月に装備した。試験艦であった。母港サンジェゴ)

1. 『プロシーディングズ』誌1982年4月号、p. 29 (写真あり) / 2. 『ジェーン年鑑』1984-1985、p. 640、p. 689 (p. 640によれば、85年3月8日までに定期オーバーホールをすませた) / 3. 『プロシーディングズ-海軍レビュー誌』1984年、p. 150 (写真あり)

③攻撃型原潜ギターロ(スタージョン級。1982年4月に魚雷発射管を用いた発射台を装備した。試験艦であった。母港サンジェゴ)

1. 『プロシーディングズ』1982年

4月号、p. 31 (写真あり) / 『ジェーン年鑑』1984-1985、p. 640によれば1984年6月1日から1985年12月1日まで、メアアイランドで定期オーバーホールをすませた) / アジア太平洋防衛フォーラム(1984年夏) p. 5

④攻撃型原潜ラホヤ(ロサンゼルス級。1984年に魚雷発射管を用いた発射台を装備した。母港サンジェゴ)

1. 『プロシーディングズ-海軍レビュー誌』1984年、p. 159 (写真あり) / 2. 海軍内部情報

⑤攻撃型原潜ヒューストン(ロサンゼルス級。1984年に魚雷発射管を用いた発射台を装備した。母港サンジェゴ)

1. 『ジェーン年鑑』1984-1985、p. 650 / 2. 海軍内部情報

比較しておく。

▶トマホーク(対艦攻撃用TASM)＝射程460km/全長5.56m/価格7億5千万円(対艦用の価格と特定されていない)▶ハブーン＝射程110km/全長4.57m/価格3億2千万円(84年度)▶海上自衛隊国産巡航ミサイル＝射程150km/全長未定/価格1億円弱の見積り。

ノルウェー第二の海軍基地で核艦船拒否の市議会

1985年6月1日付のノルウェーの反核グループ「核兵器ノー」の報告によれば、ノルウェーで過去6週間の間に8つの自治体議会が、核艦船の入港を拒否した。

海洋発射巡航ミサイル(アメリカの場合はトマホーク)配備を契機と

して、この決議運動は急速に広まった。核搭載可能艦は非核証明を出さなければこれらの自治体の港に入港することは出来ないという内容の決議であり、神戸市が1975年に始めたものと同じ方式である。これらの自治体のほとんどは、ノルウェーの北部に位置しているが、オスロの西部に位置するホルテンが含まれていることは注目に値する。ホルテン港はノルウェー海軍の二番目に大きな基地であり、最も大きな造船所をもっている。またNATO軍の軍艦を受入れるに際しては中心的な役割を果たして来た。中央政府は、自治体がこのような決定をする権利はないと言っている。

怒りを肉声にのせて 8月6日からハンスト ●トマホーク阻止京都連絡会

「私たちはヒロシマ・ナガサキを忘れない 私たちはトマホーク、F16の配備を許さない」の横断幕を背に、山下円美さんと私とが四条河原町に座り込んだ「トマホーク阻止京都連絡会」のハンスト行動は、今後へつながる多くの豊かさをはらんで終わりました。8月6日8時15分から15日正午までの約10日間、人と人とのゆったりしたことばのかわしあいに満ちたハンスト現場が創り出されたと思います。

ハンドマイクでの訴えを最少限に抑え署名やカンパの呼びかけもせず、ビラを手渡すだけの「静かな座り込み」は、私たちが論議の中からめざした形態でした。ハンストそれ自体が内包する行動性や喚起力によって道行く人々の心に日本の核状況に対する関係性の自覚を触発し、克服への志と行動と

をともしはぐくむつながりを創り出せないものだろうか、これが私たちがこのハンスト行動にこめた願いでした。

その願いは幾つかの確かな芽を生んだと思います。ともに座り込んでくれた人、行動するのは初めての支援の若い人たちが立ち止まって話しかけたり自ら署名やカンパを申し出てくれた人たち。支援者どうしの毎夕の交流会も含めて、さまざまな人と人が現場で豊かな対話の時を持ちました。



ハンストに多くの人びとの支援がよせられた

核運動なのに矛盾しないか、とも問われました。それに対して私はこう答えたいと思います。「有機的な生命体である地球自体を含む生命をこれほどに下等に置き粗末に扱う核兵器の思想に対して、あらゆる生命が最高の価値であると考え、一人間の思想の最もぎりの対峙行為がハンストである」と。私にとってハンストはまさに精神的な行為でした。

私の主張

たらいいわけですし、核に対する認識と怒りの深化から生まれる行動はその形態を超えて必ずひとつのつながりに達しようと思います。今回のハンストに私個人がこめたもうひとつの大きな思いは、高校の教師として核について日常的に語りかけてきた若い人たちがそれぞれになしうる行動を生活の中で選り取り立ち上がってほしいというメッセージとしての思いでした。「私はハンストという行動を取った。君たちは君たちのなしうる形態を選ぶ行動者であってほしい」と。その意味で、卒業生や在校生たちが支援や激励に来てくれたり、またただ現場を見に来てくれただけでも、大いにうれしいものでした。彼らの生き方の中にひとつの波立ち、ひとつの小さな芽生えがもたらされたなら、ハンスト者として本望だと考えています。人が他者と個人の内奥のことばを語りあうこと、そしてそれを持続すること、その遠い積み重ねこそが、お互いを人間にひきもどし地球を人間の手に取り返す唯一のそして最も近い方法なのだと思います。

(足立 修行)

大事なものを いっぱいもったデモで……

●八木橋真知子 上瀬谷基地は知らないノドの会

横浜市の西北端、大和市に隣接する地域に上瀬谷米軍通信隊基地があります。北陸の雪ずりのような形をしたアンテナ群が緑豊かな大地で音もなくそびえています。この存在を意識したのは今年のはじめ頃。近所の基地が今問題になり始めていくらしい、この基地の役割が何なのか、これがある事によって、どんな影響があるのか少し調べてみようか、と生活クラブの数人で話していたとき、反トマ企画のピースバスで、昨年以來基地について調べ出していた「中曽根を沈めよう神奈川運動」の人々と出会いました。一緒に何か出来ないか、という話になり、実行委員会をつくり、とにかく地元の人々と一緒に知る事から始めることにしました。

5月18日、26日に公開講座、集会デモと続いたが、両日とも予想



元気いっぱいの子供たちがデモの先頭

を上回る参加者、それも地元の人々が新聞や人伝でに聞いて参加してくれた事は嬉しい事でした。折しも、ボーリング調査がはじまったというニュースが新聞にのったためそれが影響したのかもしれない。

公開講座はとにかく上瀬谷基地なるものがどういうものなのかを知る会でした。C・Iシステムなどと少々難しい話が出てきましたが、大体の事は理解してもらえたので

はないかと思っています。ここは横須賀海軍の受信基地であり、第七艦隊第一哨戒航空指令部がおかれ、またここが、トマホーク発射指令のための中継基地ではないかという疑いが持たれています。米軍がアジア・太平洋に網の目のように張りめぐらしている通信基地の一つなのだと知りました。8月に発表された「作戦統制センタ―」計画延期からもわかるように、この基地は米国の核戦略にしっかりと組み込まれた重要な基地だということが分りました。ただの通信施設と思っていたのですがこれは大変なことになっているのだと恐ろしくなりました。

集会デモは歌ありワークショッ

という事もした。私は初老の男性に渡したが、ボーッと受け取っただけで読んでくれたかナ。とにかく25年近くデモなどなかった土地柄、突然現われたデモ行進に、地元の人々は目を丸くして見ていた。昭和36年の「電波地役権闘争」の時はかなり激しかったようだが、その人々はどこに行ってしまったのだろうか。一応無事に終わった。どれだけのものが人々の心にのこったのだろうか。少なくとも私の中にはかなりの蓄積ができたように思う。いつも主婦ばかりで動き回っていた私にとって、準備の二ヵ月間は初めて出会う事が色々あり大変勉強になりました。警察なんて免許の書替えぐらいしか行かなかったこともなかったのに、デモ申請に行く度に「こんな事は、もうやめなさい」と猫撫で声でさとされたりして思わず笑ってしまいました。その後の生・クの反省の中に、労働組合の旗を持ってシュプレヒコールを叫ぶ事にすぐ反発を感じた、あれでは地元の中に入っていくけないのではないかと心配の声が多かった。他方、一緒に参加した労働組合の人達からは、もの足りないとの声が上がっていたら

しい。私達主婦の感覚から行くと、デモ行進といったら、静かに、たれまくを持って歩くだけというスタイルなのです。貯金通帳やら何やら大事な物がいっぱいあったような大きなバッグをデモに堂々と持って現われる辺りが私たちのデモに対する認識なのです。身分を証明するようなものは一切身につ

——本屋さんでこの本をみつけたとき、アッ、やられたなって思いました。運動体がこれまでいっしょうけんめい作ってきたものが、なんだか色々あせて見えてきて……で、どんな人たちが、どんな思いでこの本を作ったのか知りたくなったというわけです。

大川 今年是被爆40周年。いろんなキャンペーンがあるだろう。そこで役に立つ「教科書」のようなものはできないだろうか、というのがそもそもきっかけですね。講談社で出版してはどうか、という話がありましたね。

平石 昨年の暮のことです。

大川 で、なるべく多くの人に「核」についての関心を持ってもらうために、裾野を広げるポピュラーなものを作ろうということに

けない、というデモのあり方は考えられないのです。こういった異なった種類の人々が出会ったのが今回の集りの特徴のようです。

りは紳士的で、私らオバサン相手でも個を持った人間として見ている人々が多いのに感激してしまっただ。当り前のことなんですけどね。でも、こういうことが草の根運動を進めて行くためには大事な姿勢なのではないでしょうか。

核いま、地球は……の、できるまで



私の主張

実行委員会解散後、新たに「上瀬谷基地はいらない・ウドの会」を発足。うど（「独活」と書きます）は瀬谷の特産物です。基地撤去を目標に30人程から出発。勉強会を中心に、老若男女がごちゃまぜになり、個々の思いを発散させながら地元を根を張って行こうと思ひます。

講談社事典局担当部長
大川 修
講談社事典局編集主任
平石元明

になりました。平石 一番読んでほしいなと思ったのは、戦争を知らない世代なんです。

大川 そこで二人でいろいろと考えましてね。ともかく、若い人たちが抵抗なく手にしてもらえらるためにはどうしたらいいかと。岩波のブックレットのようなものから、うちの少年マガジン風のものまで作り方はいろいろあるわけです。

テーマは重い。だからといって、お説教ではダメじゃないか。おどかしてもダメじゃないか。クールに、はじめに心に訴えるものを。そのためにはビジュアルなものでなければならぬだろう。そして、前田さん、西岡さんをはじめおおぜいの人々の協力を得て、この本は誕生しました。

平石 はじめはどうなるか、まったく見当もつかなかったですね。資料だって集まるかどうかと。おかげで、私たちもずいぶん勉強させてもらいました。（笑）

なぜ被爆者はいないのか

——被爆された人々の写真がないですね。考えがあつたことだと思ふんですが。

平石 ええ、そこがたいへんむづかしいところでした。またか、という感じでは出しくなかつた。そういう写真は限られているし。だから、そうじゃない表現方法があるんじゃないかと。

大川 ストレートに人間は出さなくとも、そのことを連想できる、考えることのできる「モノ」で表現したわけです。



があるんじゃないかと。

——被爆者や死んだ人の写真がなくて、どこかキレイゴトに流れてしまふんじゃないかという心配はありませんでしたか。

大川 ヒロシマ、ナガサキはもっとも残酷な事実です。しかし、それを、むごたらしさだけを突き出してみせるというのは、衝撃的ではあっても、一時的なもので終ってしまわないだろうか。もっと奥深く受けとめて、心の中に刻みつけてもらうためには、これまでとはちがった方法があるんじゃないか、そんなふうにいるる考えました。

——ビキニの「最後の犬」という写真はそうですね、とても印象的です。なんとも残酷な風景で……。

大川 豊崎さんの写真ですね。すごい写真ですよ、これは。——被爆者の写真がないことで、いろんなことを考えさせられました。これまでの原水禁運動や反核運動は、そうした人々の写真が持つ衝撃力にあまりにもよりかかりすぎていないかという反省も感じましたし、あえてのせないことで、核問題がヒロシマ、ナガサキで止ま



平石さん(左)と大川さん(右)・インタビュー・大久保・新倉

うすで、日本人は核の加害者にすらなっていることへもつながっていく。

大川 はじめにヒロシマ、ナガサキが出てくるのはまちがいないんです。しかし、そこに限定したらこれまでのものと変らない。そこから一歩も出てこない。ところがある。いろいろ調べてみると、もっともっとたくさんのことがある。

平石 丸木さんの絵もほとんどひろがっていますね。

大川 日本の現状、CIもふくめて軍事基地がどうなっているのだ

ろうと、どんどんひろがっていくわけです。核の時系列はつながっているんですからね、現在まで。

——そうすると「安保」にもふれざるをえなくなりますか。

大川 本を作るときの基本的な考え方として、イデオロギーは前面に出さない。できることならそれをこえたい。そこで、私たちは次の世代に対する責任があるのではないか。この地球をちゃんとして渡さなければいけない。そういう責任があるのではないか。問題が発生したら、そこを出発点にしよう。

安保賛成もあるだろうし、反対もあるだろう。だとすれば、安保の結果である事実を提起すればいいではないか。太平洋が核の海となっている事実はいっていいだろう。原子力発電についても、核戦争ではなくても、あそこに爆弾が落ちたらいへんですよということ、いわなくてはならないだろう。賛成か反対か、それは読者が考えればいい。

——よくわかります。それで、本の反響はどうですか。

答は読者が……

には。

大川 それも初めはあったんです。予定ではね。ところが、スペースの問題もあったのですが、評価が必要になってくるでしょう、のせる、のせないで。そうすると、この間の原水禁大会のあのさわぎをみて、どこがよくて、どこが悪いというの……。

——つまり、とりあげようがない、というわけですね。被爆国「日本」で出版される「反核」の本に、運動のリストがのせられないという現状を、私たちはもっと深刻に考えるべきだと思いますね。

大川 運動の歴史や現状はもちろんあるべきなんです。しかし、今回は……。できれば次の機会にはのせたいですね。

ついでに……

大川 編集会議のときに誰かがいっていたんですが、日本の反核運動は8月だけの、年に1回の「法事」で終わっている。それでいいの

——本当にそうなんです。

大川 この本を作って、そのへん

——ニュージーランドでも、地をうよううな人々の日常の行動がある、はじめて政府の非核政策があると聞いています。一方、私たちの日常はというと、気がついたら「国を守れ！」の大声がとびかっている。

大川 そうですね、とくに今年の8月は……。でも大部分の人はこうしたキナクさを深刻に考えているんじゃないんですか。ボクらの世代はこれはアブナイと、頭の中では考えていますよ。ただ、それが行動としては出てこないんだな。ここが問題ですが。

平石 彼は引き揚げ者で、ボクは学童疎開なんです。疎開で箱根にいましてね、毎日B29が飛んでいくのを、ひもじい思いで見ている。今でもそれが残っているんです。「平和」というのはだから、ボクらの「原点」なんです。子供たちには同じ思いをさせたくない。

大川 だから、心の中ではね、これじゃいけないと思っているわけですよ。それが大多数じゃないですか。ただ、それを声にして行動にうつす人は少ない。そのことをね、しっかりとみきわめるところからは始めるしかないでしょうね。

大川 話題にはなっているのですが、売れ方は今ひとつです。(笑)

——そうですか。とてもポップな作りで、核について知りたいと思う若い人は、思わず手にしてしま

うんじゃないかと思うんですが。

平石 ねらいはそんなんです。(笑)

大川 これからです。私たちは何年かかってまじめに売り続けようと考えています。商業的にい

えば、この本は売れてもあまりもうからない本なんですけれど。(笑)

——問6(p.107)の「まず、なにからはじめればよいのか」には答がないですね。

読みました

●「テキスト」自主講座

全体の印象

●版型がちょうどいい大きさ。電車の中でも読める。

●オールカラー(128ページ)というぜいたくな作りで、ヴィジュアル面に力を入れ、文字は少なめなのでわかりやすい。

●ヴィジュアルな作りであり

大川 原稿はあったんです。はじめは。でもどうしてもしっくりいかない。「なにからはじめるか」というところで急に押しつけがましくなってしまう。あるいは、ひとりよがりになってはいないか。

で、思いきって答は読者に出してもらおうと、原稿をけずったんです。

平石 その答のひとつがこの手紙です。看護科の学生さんからなんですけど。

大川 ほんとうれしかったですよ。この手紙は。うれしくてね、二人で飲んだんですよ。(笑)

——わかります、その気持。(笑)それと、どのような運動があるのかというのもないですね。この本

ながら内容は決して野次馬的、ミーハー的ではないので信頼できる。

●一目見て「きれいな本」という印象。それに安い。

内容について

●核についてよく知らない人のことをよく把んで作ってあるし、さらに詳しく知りたい人のために本のガイドもあり親切。

が成功。

●トータルとしてよい入門書だと思う。

●カタログ的副読本によい。

読んで、見て、思うこと

●(p.38 アトミック・カフェ) 目新しいことばを使ってみることで何か新鮮であるかのように思うのは私たちにもあることだけど、当時「アトミック」ということばが流行りのように使われたことには何とも言えない気持。

●(p.35、60 アトミック・ソルジャー) さく裂した原爆にむかって兵士を突撃演習させるという「実験」！ 二重の非人間性だと思う。

●(p.100) 銃を備えた核シェルターにも、がく然。

●ビキニに残った犬の写真がショック。犬は核を作らなかつたのに。

●核廃絶はやればできるということ(p.106)がちゃんと書いてあって励まされる。

●何よりも核廃絶を前提とした作り方、内容がうれしい！

読者から

●前略、署名おくりして申し訳ありませんでした。カンパは郵便ふりかえを教えてくださいましたので、そちらの方から振り込みしたいと思えます。暑い中、皆さまがんばっていらっしやるようす。私も署名、もう少し、あたってみます。たぶん8月末に、なってしまうでしょうが……

8月12日

荒木正子（東京・葛飾区）

●前回の号の中でよかったと思う記事：非核ニュージーランドをつくりだした人々
とりあげてほしいことがら：第三世界から見た「平和」について
平和創造の為に国際ネットワークに参加したいのですが、どのようなすれば参加できるでしょうか。
私は、広島市の「ストップ・ザ・戦争への道／ひろしま講座」というグループに所属しています。

8月24日

from ヒロシマ

行田薫和（郵政職員）



カット・逢坂恵子

●トマホークに対する理解を広めることが目的なのか、一定の知識を持つ団体の機関誌なのかかわからない。今、反核をうたうのなら何はともあれより多くの人々に危機感を持たせることを考えて欲しい。それには、インパクトも弱いし、何よりトマホークがなぜ危険なのかという説得力のある説明を最初に持ってくるべきだと思う。トマホークの出現によって限定核戦争が起こる可能性が生じたこと（核抑止論の崩壊）、日本に配備される可能性があることをもっと強く訴えて欲しい。せっかくこれだけの誌面を作っているのだから、反核の力をつけるにはどうすべきかを、もう一度マクロの目で見直して下さい。

森岡直美（千葉県・我孫子市）

●1.「元気印」ということに代表されるのか、元気があつてよいです。たのしいです。

2. 話題、人、場所もずいぶん豊かです。これも感心しました。割付

●6月の末からシドニーで行なわれた「太平洋女性平和会議」に出席しました。主催はWILPF。約15カ国（ベラウ、フィリピン、パプア・ニューギニア、フィジー他）150～180名の参加で、3日間にわたって行なわれました。2、3人の男性の他は、ビデオカメラをまわすのも全部女性達で、熱気に満ちた雰囲気でした。

どこの国も、女性差別の根深さは同じ。しかし女性の役割の大きさ、今女性達が何をしなければならぬかが基調となり、各国の状況が報告されました。人種差別（アボリジニー、マオリ、カナキ）、他国介入による文化の変化、政情不安（警察力、軍事力の増長と虐殺、暴行）、多国籍企業進出（貧困）、核の脅威（実験、廃棄物、被曝）という重い問題が果敢とていました。ポリネシアでの核実験による放射能の被害が報告された時には、「ノーモア」から「くり返されているヒロシマ、ナガサキ」の現実を日本の運動の中にとりこむ必要を感じさせられました。

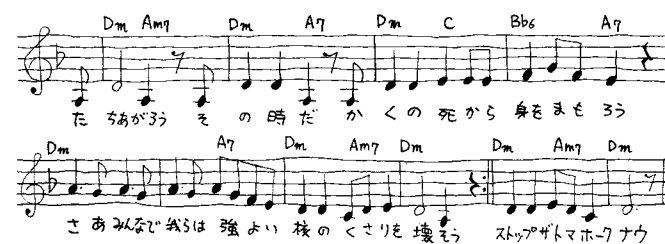
ベラウやフィリピンからの発言の中には、よく日本の名が出てきました。本や人づてに聞いていた

け、その他、技術的というのですか、その面も、実に工夫してますね。3. つづかなあ、つづくといいなあ、と心配しながら応援の気持です。これだけの質のものを毎月か隔月につくるのは大変でしょうから。

金に近いうちに。……沖繩をつづけて、必ずとりあげて下さい。とくに反戦地主会。そして、元気な人たち、その活動。6月15日、明治公園で友人から本を受けとって……。清水知久（東京・練馬区）

うたうたうたう

Stand up!



Stand up. The time has come.
Defend yourself against nuclear death.
Now, together we are strong.
Break a nuclear chain.
(repeat)
Stop the Tomahawk now!

立ちあがろう その時だ
核の死から身を守ろう
さあ、みんなで 我らは強い
核の鎖を壊そう
(くり返し)
ストップ・ザ・トマホーク、ナウ!

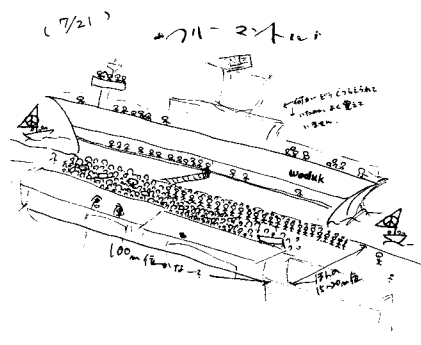
6月30日のヨコスカの集会・デモの時に歌った歌です。ポーリンさんからヨコスカの人たちが教わり訳詞したものです。

日本のバナナ農場や遠洋漁業が彼らの生活を追いつめていることが報告された時には、安いバナナ、溢れる遠洋の魚に囲まれた私たちの暮しを思いうかべながら、身のちぢむ思いでした。

●ウェストオーストラリアの横須賀という感じのフリーマントルで、7月21日に米艦船の入港に抗議する集会があり、参加しました。港近くの小さな公園に300人ほどの人が集まっていました。弁当を広げる人、寝そべっている人、赤ちゃん連れ、反核のゼッケンをつけて走りまわる子供達。男女も半々位で、カラフルで、陽気で楽しいものでした。

シドニーからオートバイで反核のデモンストレーションをしながらやってきた女性のスピーチがあったり（シドニーからパースに来るのに車では3泊4日もかかるのだそうです）、風刺寸劇あり、歌ありと気持ち盛り上げたところで、少しはなれた船着場に思い思いに移動。

驚きました。目と鼻の先に軍艦がいるんです。接岸している2隻は、毎回来るたびに一般公開するとのことで、乗り降りの列が長々



と続いています。私たちは「W o d u k」という艦のそばに集まり、カードを掲げたり、踊ったり。誰が先導するでもなく、あつちから流れてくる歌声、こっちからあがる「GO HOME」の声に、機に応じて声がひとつになり、その場が作られているのはとても感激しました。

ジョージ・バレンタイン（U A から出ている上院議員で、6歳と4歳の女の子がいる若い女性です）と抗議グループの2人の女性がタラップを上がり、キャプテンに会って私達のメッセージを伝えたいと言に行きました。キャプテンは出てきませんでしたが、女性達がこの役割をはたしているところに、日本とのちがいを感じています。またお手紙します。

オーストラリア ニュージーランド 反核留学

遠山 法子

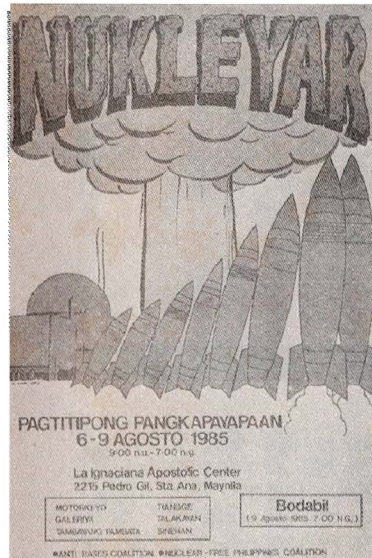
オーストラリアの反核グループによれば、現在、オーストラリア・ニュージーランドで反核交流の旅をつづける。生活クラブ神奈川組合員3名の母

海外から

フィリピン

反原発で
5万人が
ゼネストに突入

6月18日から20日にかけての3日間、マニラの西方にあるバターン半島は地域人民ゼネストで大きく揺れた。半島西岸の町モロンに建設されたフィリピン最初の原子力発電所（出力62万KW、米国のウェスチングハウス社製）は現在99パーセントが完成し、マルコス政府は今年6月から7月には運転許可



を下す予定でいた。フィリピン非核連合事務局長のエルモ氏（6・16全国行動に参加）は訴える。「原発建設地の北には米国のスービック海軍基地がひかえ、半島南端には「外資の天国」といわれる輸出加工区（一大工場団地）が広がる。誰のための電力か？ 危険で金を喰うバケモノはいらない！」核燃料輸送につかわれる主要道路を丸太でロックアウトし、そこに人間バリケードを築いて軍隊と対峙し、教師連合と全学連は共同で学校閉鎖、市場は閉まり交通ストでジプニー運転手は連帯、半島全人口38万人のうち5万5千名が直接ゼネストに参加。教会は毎日定期的に抗議の鐘を鳴らし、輸出加工区内の労働者もゼネスト宣言。大戦中の「バターン死の行進」と同じコースを「生きるための行進」と呼び歩き通したという。その数

日後、新人民軍（NPA）は数十本の電線を破壊した。あらゆる階層から無数の人々の力が結集した人民ストは、米・マルコス体制にまた一つ大きな風穴をあけ

反トマ国際共同行動

ベトナム反戦以来の
地球的同時行動

反トマホーク・アジア太平洋運動が提唱し、北大西洋ネットワーク（NAN）が共催した「海洋発射巡航ミサイル（SLCM）に反対する国際抗議デー」と一連の六月行動が終了した。

ベトナム反戦運動以来、ひびきさの地球的規模の同時行動が展開されたわけで、危機的な核状況への憂慮を共有した人々の間に、確かな連帯感の土台が築かれた。行動は11ヶ国でとり組まれ、アメリカやオーストラリア、イタリアなどでは、国内の多くの地域で行動が展開された。以下には興味ある行動のいくつかを紹介しよう。

▼オーストラリア
西海岸のフリーマントルでは

パラオ

大統領暗殺の
背景は？



米国の施政権下にある国連信託統治領ベラウ（パラオ）共和国のハルオ・レメリック初代大統領（2期目）が6月30日の深夜0時25分ごろ、首都コロールの大統領宿舎前で何者かによって射殺された。

レメリック大統領は就任以来、自由連合協定に米軍基地協定支持の立場を表明しており、米軍基地化に反対する住民から批判をうけてきた。しかしその一方で、制憲会議の議長としてベラウ憲法起草の中心にいたレメリック氏は、非核条項を含む憲法だけは譲れない一線としてもっていたと思う。彼は指導力がないといった声と同時に、いわゆる政治家とは違った「誠実な人」という評価も受けていた。自立した経済基盤をもたないベラウは自由連合による財政援助

「核軍縮のための人びと（PND）」が実物大のトマホークをトラックにのせて町役場にむけて行進し、そこで上院議員のジョー・バレンタインが演説をした。東海岸のシドニーでは、6月15日の夜、60名の人びとが手に手にたいまつをもって港の南北にある岬に集まった。一方の岬の断崖で人びとが一行に並んだとき、岬が明るく照らされ対岸の岬の人びと、そしてひいては世界中で同時行動にとり組んでいる人びととの熱い連帯感に包まれた、と報告者は述べている。翌日の港での集会には200人以上の人びとが参加。市会議員の半数近くが行動に支持を表明した。

▼アメリカ西海岸

サンジェゴでは「生存のための同盟」などが、市がトマホーク製造と配備に関与していることに抗議して、6月15日に65名がシュルター島に集まった。トマホークは市内のジェネラル・ダイナミックス社コンペアー工場を組み立てられ、シュルター島の対岸のバラストポイント潜水艦基地で攻撃型原潜に積まれる。陸上での集会のあと、人々はプラカードを掲げ歌を唱いながら潜水艦基地をヨットで

横断した。ロングビーチでは黄色と黒の風船千個が放たれ、50人が、ここを母港にトマホークを確実に積んでいる戦艦ニュージャージーに的を絞った抗議行動を行なった。サンフランシスコでは、17隻の船を出して戦艦ミズーリの母港化に反対した。

▼カナダ西海岸

エスキモルトでは6月16日、40人が海岸に集まり、30人が船に乗って、トマホーク能力艦がカナダ海軍基地を使用することに抗議した。そのとき港にはスタージョン級の潜水艦が停泊していた。このデモはメディアに大きく取りあげられ、市議会でのトマホーク論議を生み出した。7月7日には、ロサンゼルス級のインデアナポリスが停泊している中に同じ行動がくり返された。ナヌース湾では徹夜の坐り込みが行なわれ、バンクーバーでは断食闘争が行なわれた。

▼北大西洋

6月15日、イギリスのCNDが議会に面しているテムズ河畔で、配備されるトマホークの数に等しい4千個の風船を放った。同時に大ロンドン議会がロンドンにあるアメリカのヨーロッパ艦隊司令部